資料2

名古屋三河道路
（西知多道路～名豊道路区間）
第３回　構想段階評価

愛知県建設局

令和6年12月9日

目　次

１．検討の流れ　……　2

２.第2回意見聴取の結果　……　8

３.対応方針（原案）の検討　……　26

４.自治体への意見照会結果　……　31

５.対応方針（案）まとめ　……　39

１．検討の流れ

１-１）評価対象区間

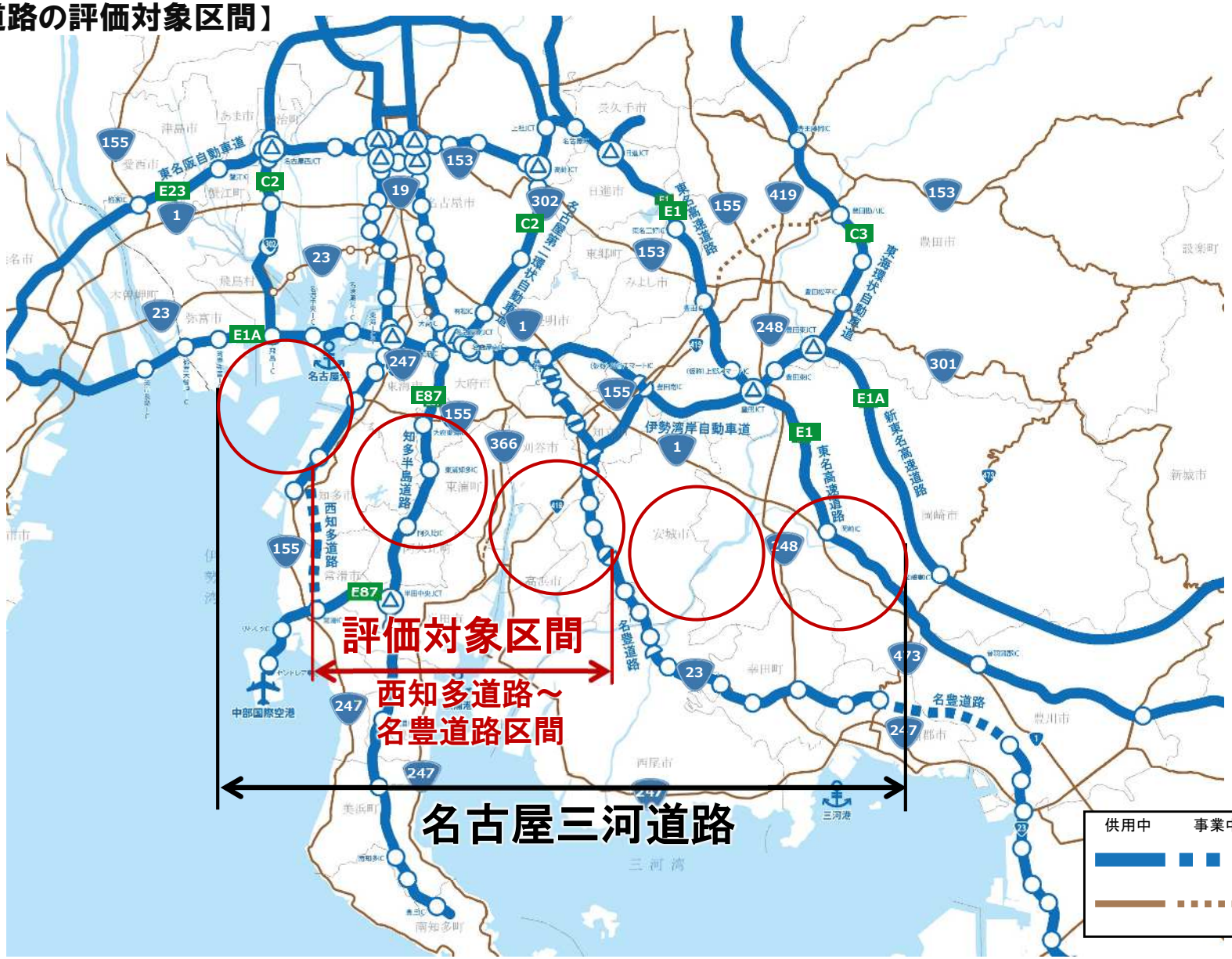
１-２）構想段階評価手続きの進め方

１-３）前回審議内容

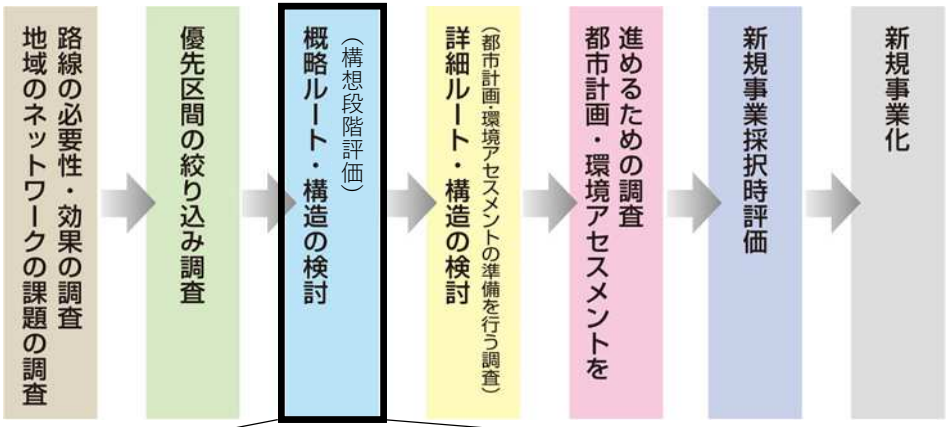
1. 検討の流れ　1-1)評価対象区間

● 評価対象区間は、名古屋三河道路のうち、**西知多道路と名豊道路を結ぶ区間**とする。

【名古屋三河道路の評価対象区間】



1.検討の流れ　1-2)構想段階評価手続きの進め方



＜構想段階評価手続きの進め方＞

R4.3.4	R4.12.14	R5.3.1～R5.4.30	R5.12.11	R6.2.1～R6.3.29	今回 R6.12.9	
令和3年度 第1回 名古屋都市圏 環状機能検討会	第1回 有識者委員会	意見聴取	第2回 有識者委員会	意見聴取	第3回 有識者委員会	対応方針の決定（概略ルート、構造）
〔検討結果〕 ◆ 名古屋三河道路の概略ルート・構造の検討に着手 ◆ 西知多道路～国道23号名豊道路を当面の優先整備区間に設定し、路線検討は県が実施	〔議題〕 ◆ 構想段階評価手続きの進め方(案) ◆ これまでの検討状況 ◆ 地域の状況 ◆ 道路交通の現状と課題 ◆ 政策目標(案)の設定 ◆ 意見聴取方法(案)	◆意見聴取内容 ○ 地域の課題 ○ 政策目標(案) ◆意見聴取方法 《ﾋｱﾘﾝｸﾞ・ｱﾝｹｰﾄ》 対象者：沿線自治体 団体代表者 地域住民 企業　等	〔議題〕 ◆ 意見聴取結果 ◆ 政策目標の設定 ◆ 複数案の設定 ◆ 評価項目の設定 ◆ 意見聴取方法(案)	◆意見聴取内容 ○ 複数案の比較評価時に重視・配慮すべき事項 ○ IC配置で配慮すべき事項 ◆意見聴取方法 《ﾋｱﾘﾝｸﾞ・ｱﾝｹｰﾄ》 対象者：沿線自治体 団体代表者 地域住民 企業　等	〔議題〕 ◆ 意見聴取結果 ◆ 複数案の比較評価 ◆ 対応方針(案)の検討	

有識者委員会

1.検討の流れ　1-3)前回審議内容①

■第2回名古屋三河道路有識者委員会の概要

実施日	令和5年12月11日（月）開催
議事事項	（１）検討の流れ （２）第1回意見聴取の結果 （３）対応方針（複数案）の検討 （４）第2回意見聴取の方法

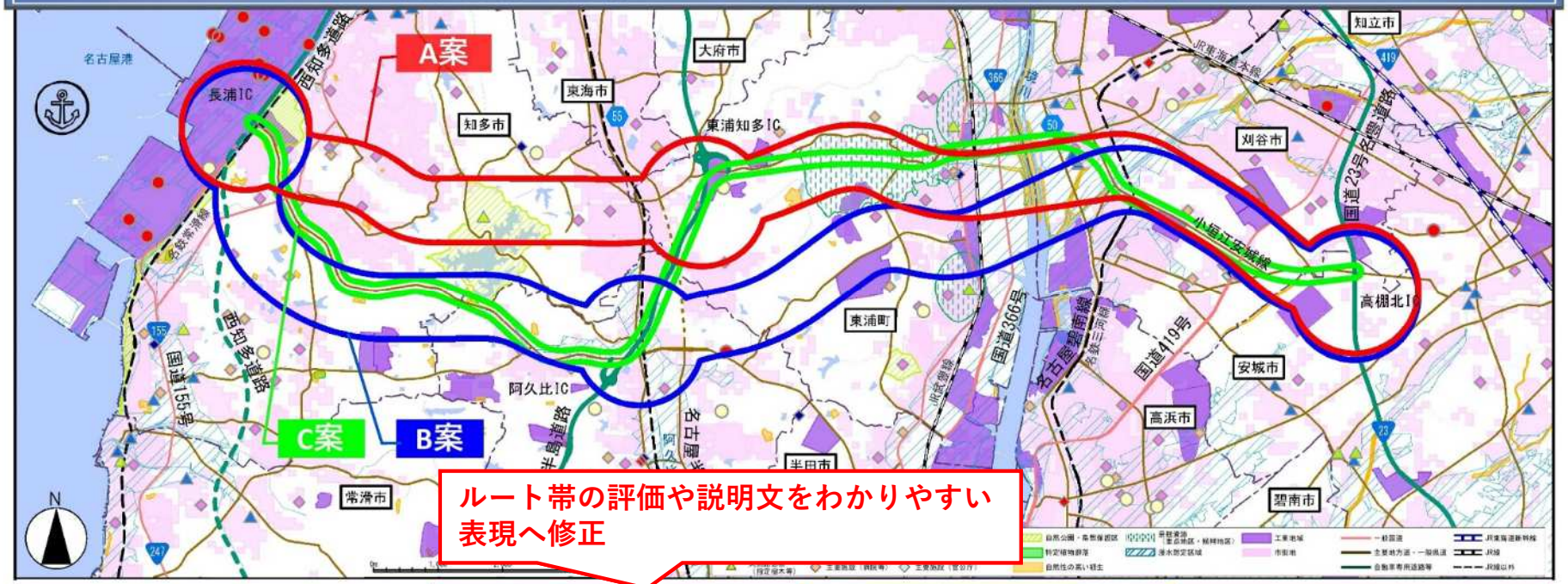
■第2回名古屋三河道路有識者委員会での主な指摘事項と対応方針

指摘事項	対応方針
アンケートはがきやチラシ（説明資料）の設問や説明の表現について、わかりにくい表現があるので修正するべき。	アンケートはがきやチラシ（説明資料）の表現について、わかりやすい表現に修正。
意見照会の結果はいつ公表するか。 アンケートの回答結果の公表時期を示すことで、回答者が流れをイメージできると思う。	第3回委員会で公表することになるため、説明資料にその旨を追記。

1.検討の流れ　1-3)前回審議内容②

● ルート帯の評価表の内容をわかりやすい表現に修正

政策目標を達成するための3つのルート帯案とその特長　【資料②】



ルート帯の評価や説明文をわかりやすい表現へ修正

評価軸		A案：別線案（北側ルート：約19km） 全線を最短で結ぶ新たな自動車専用道ルート	B案：別線案（南側ルート：約20km） 沿線地域の工場等へのアクセスも考慮した新たな自動車専用道ルート	C案：現道活用案（約23km） 既存道路を機能強化※するルート ※車線数を増やす、交差点を立体化するなど
産業	定時性・速達性の向上による物流網の信頼性の確保と交流域の拡大 ①名古屋港・中部国際空港を有する知多地域と西三河地域への移動における速達性・定時性の向上	・最短距離の自動車専用道路で結ぶことにより、移動時間が最も短縮し、信号交差点が無いため、予定の時間に到着しやすくなる	・自動車専用道路で結ぶことにより、移動時間が短縮し、信号交差点が無いため、予定の時間に到着しやすくなる	・現道の交通容量の拡大により、移動時間はやや短縮し、信号交差点の数が減るため、ある程度予定の時間に到着しやすくなる
	②工業地域等の生産拠点における物流の効率化	・東西方向へのアクセスが良くなる工場等の生産拠点が多く立地しており(N=約220件)、物流の効率化が図られる	・東西方向へのアクセスが良くなる工場等の生産拠点が最も多く立地しており(N=約240件)、物流の効率化がより図られる	・東西方向へのアクセスが良くなる工場等の生産拠点が立地しており(N=約110件)、物流の効率化がある程度図られる
渋滞	交通の円滑化 ③周辺道路の交通混雑の緩和	・自動車専用道路への交通の転換により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する高規格道路や一般道路の混雑が緩和される	・自動車専用道路への交通の転換により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する高規格道路や一般道路の混雑が緩和される	・現道の交通容量の拡大により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する一般道路の混雑が緩和される
安全	交通事故の減少 ④交通事故発生リスクの低減	・事故件数の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通量の減少が見込まれ、交通事故の発生リスクの低減が図られる	・事故件数の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通量の減少が見込まれ、交通事故の発生リスクの低減が図られる	・事故の多い境川・衣浦港周辺の一般道の交通がスムーズになり、交通事故の発生リスクの低減がある程度図られる
防災	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築 ⑤災害時における通行の信頼性の確保	・嵩上げ式の道路として繋がることにより、浸水リスクが回避されるなど、災害時の通行の信頼性が向上するとともに、代替路として機能する	・嵩上げ式の道路として繋がることにより、浸水リスクが回避されるなど、災害時の通行の信頼性が向上するとともに、代替路として機能する	・機能強化による浸水リスクの低減などにより、災害時の通行の信頼性がある程度向上するが、代替路としての機能は低い
	⑥地域の防災性の向上	・現在ある高規格道路へのアクセスが良くなる防災拠点等が多く立地しており(N=14箇所)、地域の防災性の向上が図られる	・現在ある高規格道路へのアクセスが良くなる防災拠点等が最も多く立地しており(N=17箇所)、地域の防災性の向上がより図られる	・現在ある高規格道路へのアクセスが良くなる防災拠点等が立地しており(N=11箇所)、地域の防災性の向上がある程度図られる
配慮すべき事項	⑦生活環境（大気・騒音等）への影響	・集落・市街地部など、生活環境への配慮が必要と想定される区間があり、大気質や騒音などの影響がある程度懸念される	・集落・市街地部など、生活環境への配慮が必要と想定される区間があるが他案に比べ短く、大気質や騒音などの影響の懸念は最も小さい	・沿道の土地利用が比較的進展しているため、生活環境への配慮が必要となる区間が他案に比べ多く存在し、大気質や騒音などの影響が懸念される
	⑧自然環境（動物・植物・生態系等）への影響	・自然公園エリア等を通過し、田園地域を通過する区間は長く、自然環境への影響がある程度懸念される	・自然公園エリア等を通過する可能性があり、田園地域を通過する区間は最も長く、自然環境への影響が懸念される	・沿道の土地利用が比較的進展しているため、自然環境への影響の懸念は最も小さい
	⑨景観等（景観資源）への影響	・景観の保全上重要な地域を一部通過するため、景観等の影響が懸念される	・景観の保全上重要な箇所を概ね回避するため、景観等への影響の懸念は最も小さい	・景観の保全上重要な地域を通過している現道を機能強化・活用するため、景観等への影響がある程度懸念される
	⑩建設コスト	約3,200億円～3,800億円	約3,100億円～3,700億円	約2,300億円～2,800億円

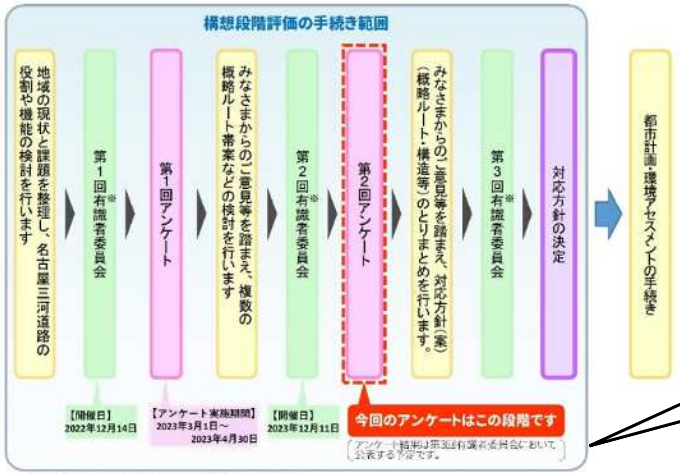
1.検討の流れ　1-3)前回審議内容③

● アンケートのチラシ（説明資料）に「第3回有識者委員会」にてアンケート結果を公表する予定であることを追記。

愛知県が進める手続き（構想段階評価）の流れ

愛知県では、地域のみなさまのご意見をお聴きしながら、地域の現状と課題、名古屋三河道路（知多～西三河）に求められる役割や機能を整理し、概ねのルート帯案などの検討を進めています。

今回は、第2回アンケートとして名古屋三河道路（知多～西三河）のルートを考える際に、この地域（知多・西三河南部地域）にとって重要だと思う道路の役割や機能などについてお伺いするものです。



※客観的な立場から助言等を行う委員会

「第3回有識者委員会」において結果を公表する予定であることを追記

☎ 052-951-0837（受付時間/平日9:00～17:00）
✉ dourokensetsu@pref.aichi.lg.jp

P.8

アンケート結果は第3回有識者委員会において公表する予定です。

２．第2回意見聴取の結果

２－１）意見聴取の概要
２－２）回答者属性
２－３）道路の利用形態
２－４）重要だと思う道路の役割と機能
２－５）ICの配置について配慮すべきと思うこと
２－６）アンケート自由意見
２－７）ヒアリング調査結果
２－８）意見聴取結果のまとめ

2.第2回意見聴取の結果　2-1)意見聴取の概要①

● 一般道路利用者に対しては、アンケートはがきやWEBやオープンハウスなどを用いたアンケート調査や、事業者に対しては、調査票付小冊子の会報誌への差込によるアンケート調査を実施。自治体や商工会議所等に対してはヒアリング調査を実施。

■意見聴取期間

令和6年2月1日（木）～令和6年3月29日（金）※郵送調査は令和6年2月15日（木）から開始

■アンケート調査票による意見聴取

分類		調査方法	配布数	回答数	回収率	回答形式	回答数内訳
一般道路利用者	地域内	・12市町の住民へアンケートはがきを無作為抽出で郵送	82,770	18,772	23%	郵送はがき	12,827
						WEB回答	5,945
	地域内 地域外	・自治体関係施設、道の駅、PA等に留め置き調査票とポスターを掲示 ・市の会報誌へQRコードを掲示 ・愛知県HPにアンケートリンクを掲示 ・インタビュー調査 （道の駅にしお岡ノ山、道の駅筆柿の里・幸田、大府PA、阿久比PA） ・オープンハウス （於大公園、名鉄朝倉駅、フローラルガーデンよさみ、アンフォーレ、阿久比町スポーツ村）	-	1,941	-	留め置き資料付属はがき	281
						WEB回答	619
						インタビュー調査	634
						オープンハウス	407
事業者		・12市町の事業者へアンケートはがきを無作為抽出で郵送 ・12市町内の事業者の会報誌へ調査票付小冊子を差し込み ・トラック・バス・タクシー・観光・旅行業協会の登録企業へ配布	14,852	1,927	13%	郵送はがき	1,431
						WEB回答	496
計			97,622	22,640	-	-	22,640

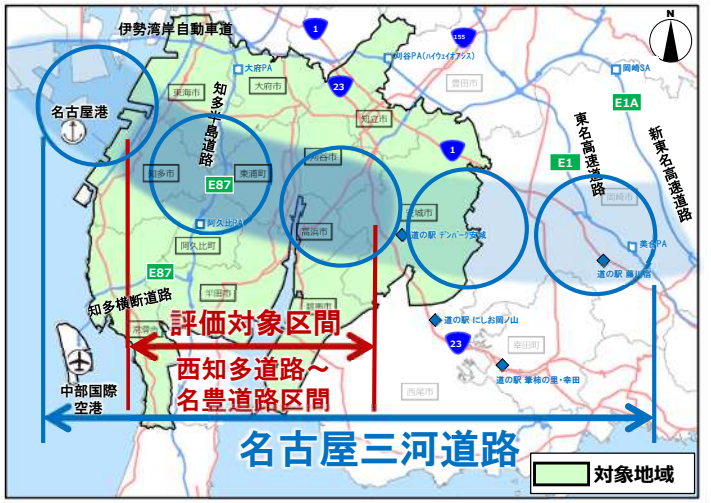
※地域内：名古屋三河道路の沿線の12市町
（半田市、碧南市、刈谷市、安城市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、阿久比町、東浦町）
※地域外：上記以外の市町

【参考】第1回郵送調査回収率：25%（住民：27%、事業者：15%）

■ヒアリングによる意見聴取

ヒアリング先	件数
自治体	15
商工会議所	20
消防署・警察署	6
医療機関	4
農業協同組合・漁業協同組合・名古屋港管理組合	5
経済会	1
観光協会・旅行・トラック・タクシー・バス協会	17
製造業	16
運送業・倉庫業	4
エネルギー業	4
小売業	2
計	94

■アンケート調査の対象地域と対象区間



2.第2回意見聴取の結果　2-1)意見聴取の概要②

● 意見聴取では、回答者の基本属性に加え、名古屋三河道路のルートを考える際に重要だと思う道路の役割や機能、ICの配置について配慮すべきと思うことを聞き取るためのアンケートを設定した。

■質問事項

質問１：名古屋三河道路のルートを考える際に、この地域（知多・西三河　南部地域）にとって重要だと思う道路の役割や機能は何ですか。
以下の(1)～(10)の項目すべてについて４段階で評価してください。

＜4段階評価＞１．強くそう思う　２．どちらかというとそう思う　３．どちらかというとそう思わない　４．全くそう思わない

（1）　名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること
（2）　物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること
（3）　周辺道路の渋滞が緩和されること
（4）　交通事故の危険性を減らせること
（5）　緊急輸送道路の機能が一層高まること
（6）　地域の防災性が向上すること
（7）　生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと
（8）　自然環境(動物・植物・生態系等)に配慮し，影響が少ないこと
（9）　地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと
（10）コストに配慮した道路であること

質問２：インターチェンジの配置について、配慮すべきと思うことは何ですか。
以下の(1)～(10)の項目すべてについて４段階で評価してください。

＜4段階評価＞１．強くそう思う　２．どちらかというとそう思う　３．どちらかというとそう思わない　４．全くそう思わない

（1）　名古屋港、中部国際空港、産業集積地へ速く行き来できること
（2）　市街地へ速く行き来できること
（3）　主要な幹線道路と直接つながっていること
（4）　災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること

質問３：その他配慮すべき事項や対象地域の現在の道路の状況、今後の道路整備等について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

■ルート帯案を考える際に、「政策目標に関する事項」「配慮すべき事項」を確認

＜政策目標に関する事項＞

- 定時性・速達性の向上による物流網の信頼性の確保と交流域の拡大
- 交通の円滑化
- 交通事故の減少
- 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

＜配慮すべき事項＞

- 生活環境への影響
- 自然環境への影響
- 地域の景観への影響
- 建設コストへの影響

インターチェンジの設置を検討する際に、「配慮すべき事項」を確認

上記以外の「配慮すべきと思うこと」や「道路整備に関する意見」を確認

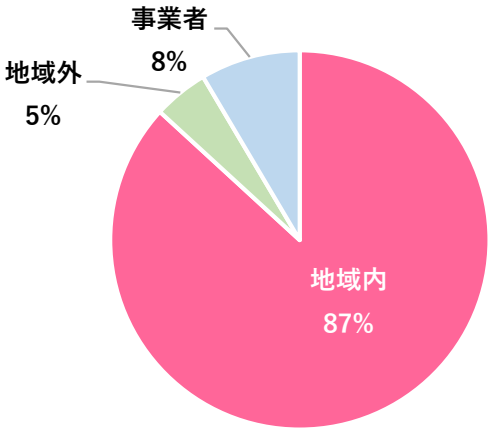
2.第2回意見聴取の結果　2-2)回答者属性

- 第2回意見聴取では22,640票（地域内：19,652票、地域外：1,061票、事業者用：1,927票）のアンケートを回収した。
- 回答者の住所について、地域内は対象12市町で概ね同程度の割合。地域外では尾張地域からの回答が約4割と高い割合。事業者用は安城市が約3割、半田市が約2割程度と高い割合。

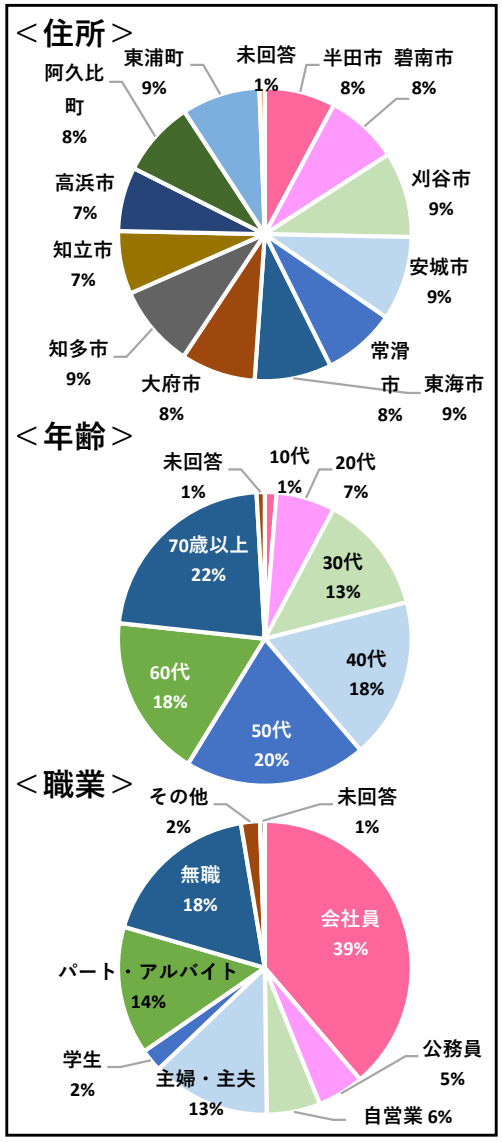
■アンケート回答数

分類		回答数
一般道路利用者	地域内	19,652
	地域外	1,061
事業者		1,927
計		22,640

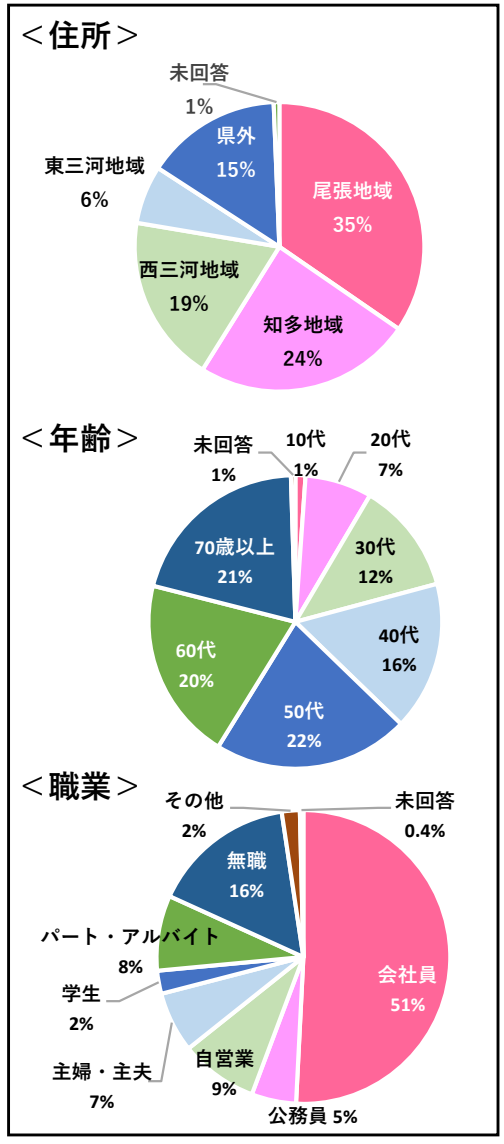
■回答者分類



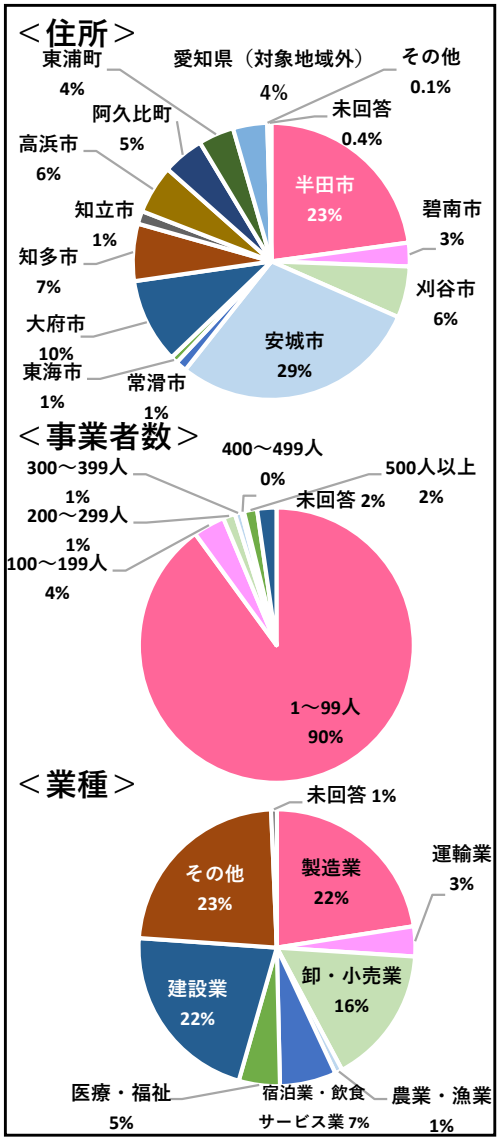
■地域内　N=19,652



■地域外　N=1,061



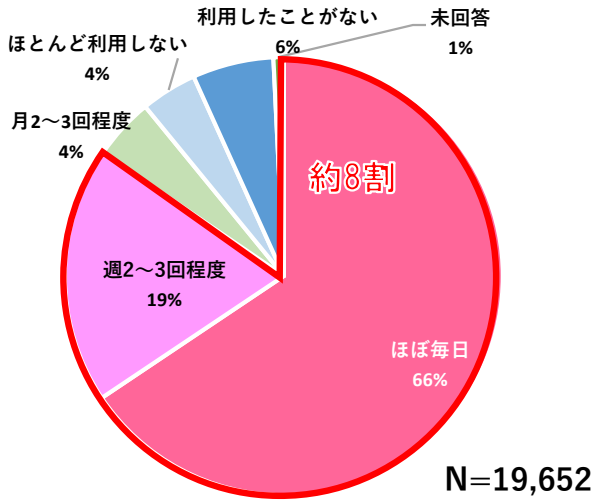
■事業者　N=1,927



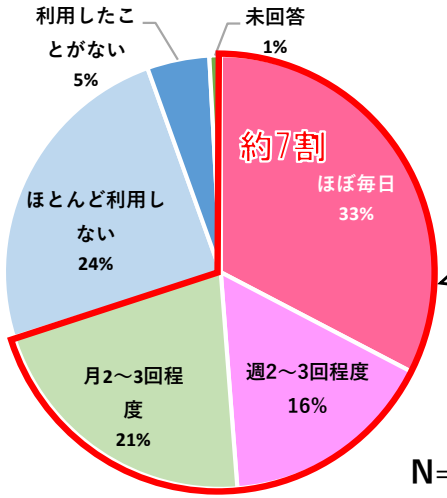
2.第2回意見聴取の結果　2-3)道路の利用形態①(一般道路利用者:地域内)

- 一般道路利用者（地域内）の自動車の運転頻度はほぼ毎日・週2～3回と回答した方が約8割であった。
- 名古屋三河道路の地域内道路の利用頻度は、約7割が利用すると回答し、その目的は仕事や通勤や家事・買い物の日常的な利用が約8割であった。
- 名古屋三河道路の地域内道路を利用する際の目的地は、地域内への移動が約8割、地域外が約2割であった。
- 地域外の目的地の詳細について、県内の短距離移動がほとんどで、尾張や西三河地域への流動が多く確認された。

■自動車の運転頻度

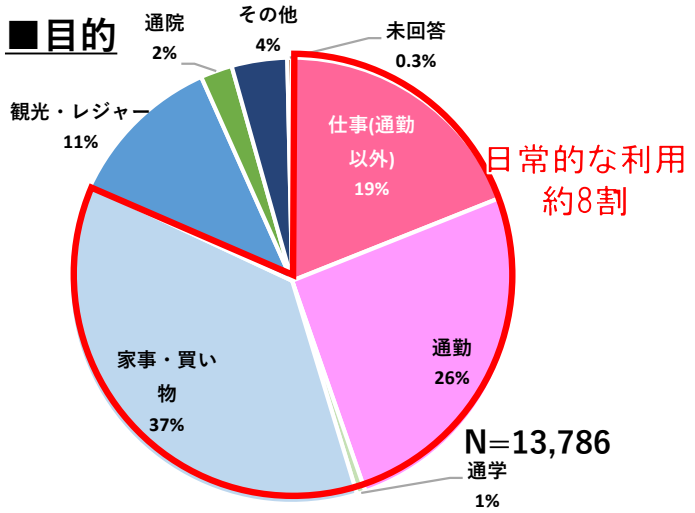


■地域内道路の利用頻度

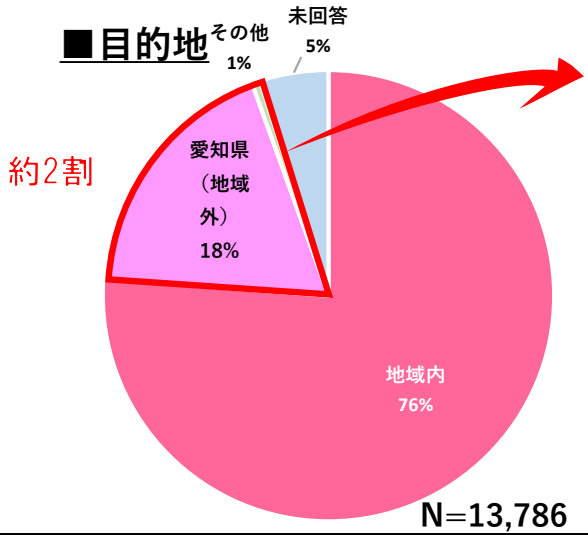


■地域内道路の利用目的と目的地（地域内道路を利用すると回答した方を対象）

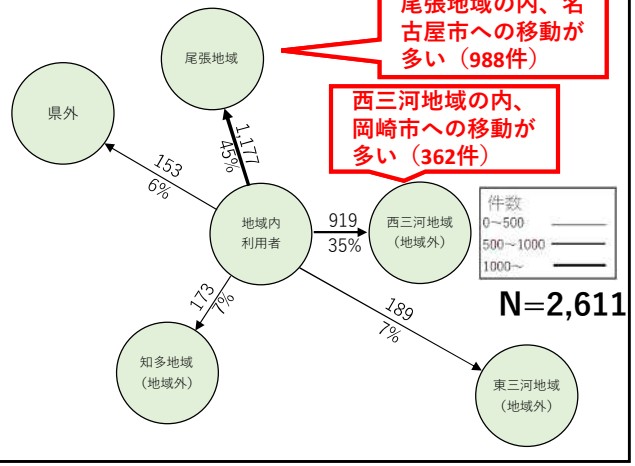
■目的



■目的地



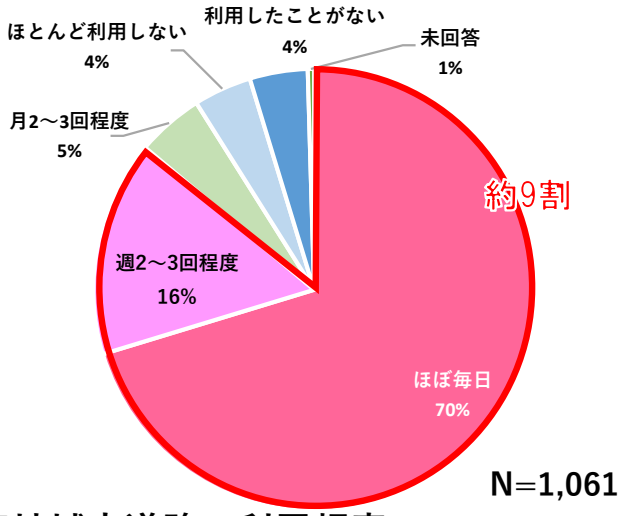
■地域外への流動



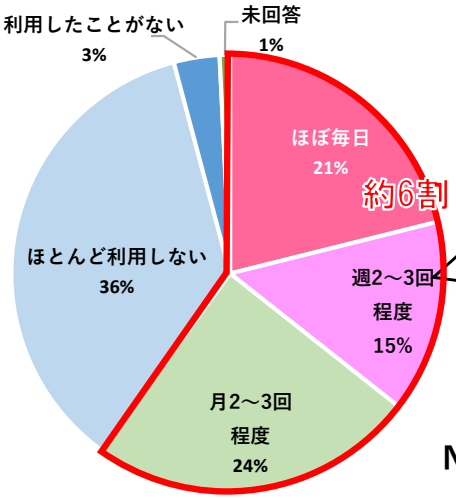
2.第2回意見聴取の結果　2-3)道路の利用形態②(一般道路利用者:地域外)

- 一般道路利用者（地域外）の自動車の運転頻度はほぼ毎日・週2～3回と回答した方が約9割であった。
- 名古屋三河道路の地域内道路の利用頻度は、約6割が利用すると回答し、その目的は仕事や通勤・通学の日常的な利用が約8割であった。
- 名古屋三河道路の地域内道路を利用する際の目的地は、地域内への移動が約5割、地域外が約4割であった。
- 地域外の目的地の詳細について、県内の短距離移動がほとんどで、尾張や西三河地域への流動が多く確認された。

■自動車の運転頻度

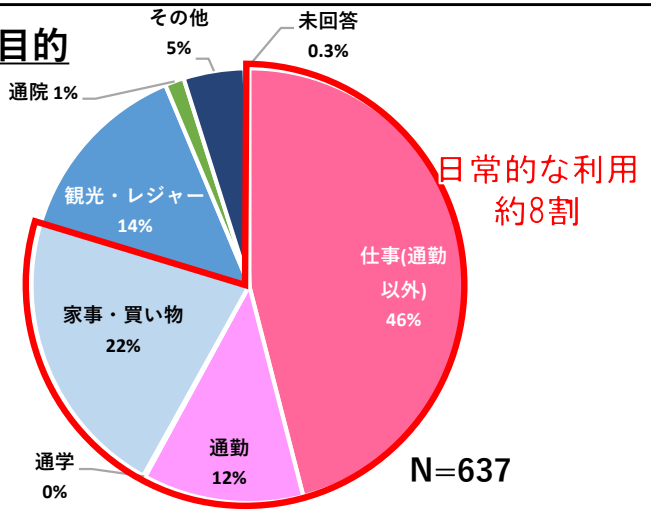


■地域内道路の利用頻度

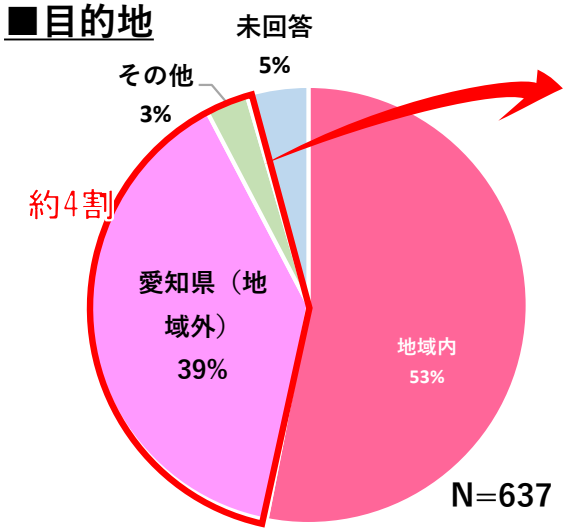


■地域内道路の利用目的と目的地（地域内道路を利用すると回答した方を対象）

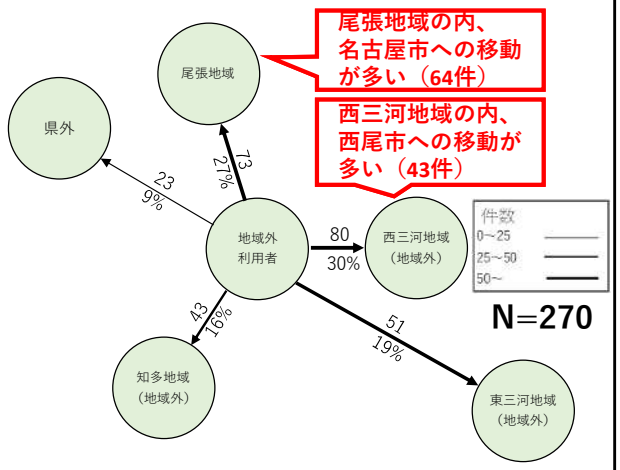
■目的



■目的地



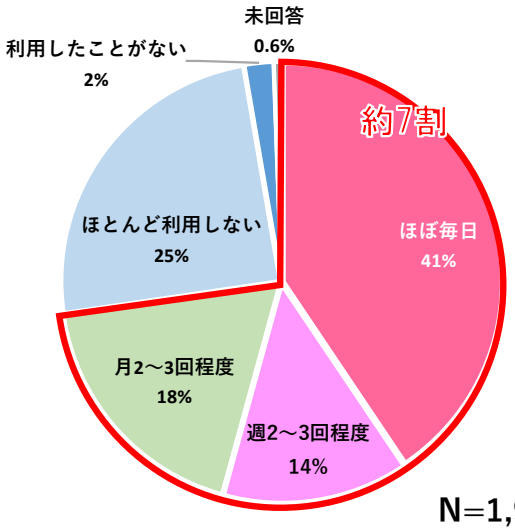
■地域外への流動



2.第2回意見聴取の結果　2-3)道路の利用形態③(事業者)

- 事業者の名古屋三河道路の地域内道路を利用する頻度について、利用すると回答した方が約7割であった。
- 名古屋三河道路の地域内道路を利用する際の目的地は、地域内への移動が約７割、地域外が約２割であった。
- 地域外の目的地の詳細について、一般道路利用者（地域内・地域外）の結果と同じく、県内の短距離移動がほとんどで、尾張地域や西三河地域への流動が多く確認された。

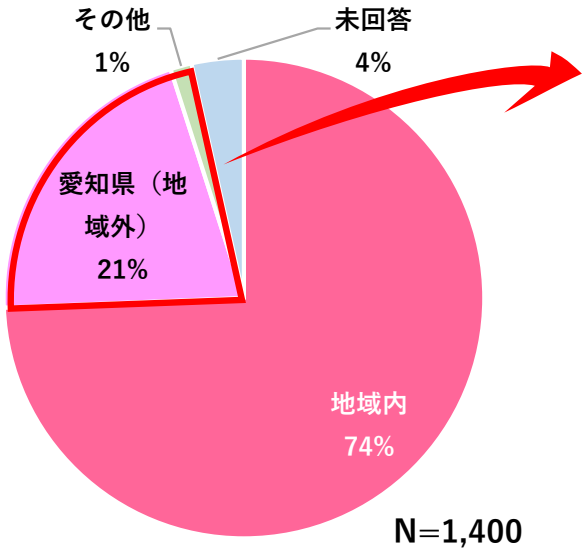
■地域内道路の利用頻度



N=1,927

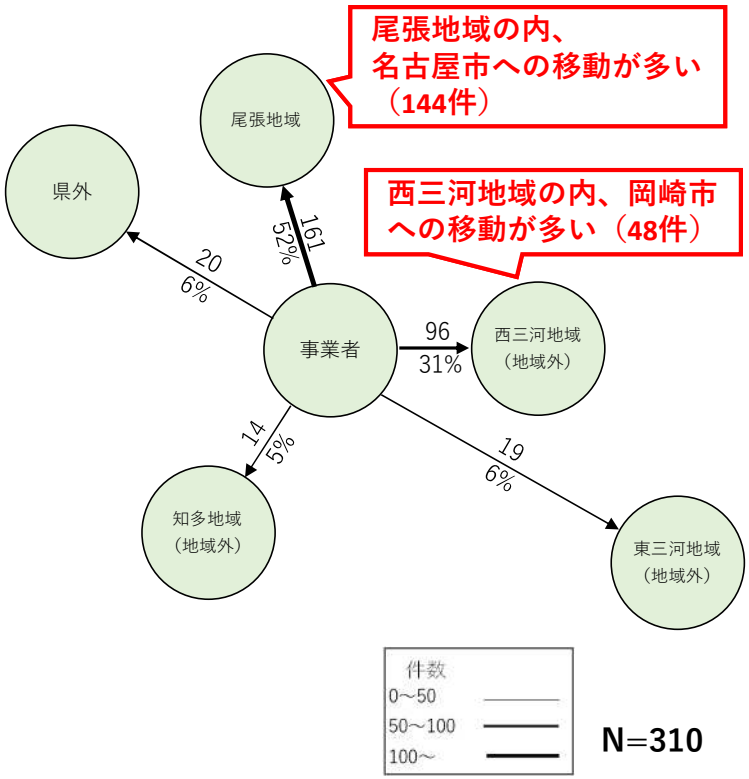
■地域内道路利用時の目的地（地域内道路を利用すると回答した方を対象）

■目的地



N=1,400

■地域外への流動



N=310

2.第2回意見聴取の結果　2-4)重要だと思う道路の役割と機能

- 全回答において、「(1)名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること」「(2)物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること」「(3)周辺道路の渋滞が緩和されること」「(5)緊急輸送道路の機能が一層高まること」「(6)地域の防災性が向上すること」を重視する意見が8割以上と多い。
- 「（４）交通事故の危険性を減らせること」「（７）生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと」についても、地域外において重視する意見が８割以上と多く、全回答でも約８割である。

名古屋三河道路のルートを考える際に、この地域（知多・西三河　南部地域）にとって重要だと思う道路の役割や機能は何ですか。

2.第2回意見聴取の結果　2-5)ICの配置について配慮すべきと思うこと

● 地域内、地域外、事業者それぞれにおいて全ての設問で重視する意見が8割以上であった。

インターチェンジの配置について、配慮すべきと思うことは何ですか。

質問事項	一般道路利用者 地域内 N=19,652	一般道路利用者 地域外 N=1,061	事業者用 N=1,927	全回答 N=22,640
(1)名古屋港、中部国際空港、産業集積地へ速く行き来できること	43% 82% 39% 12% 5% 2%	59% 84% 25% 10% 4% 1%	49% 82% 33% 9% 5% 2%	44% 82% 38% 12% 5% 2%
(2)市街地へ速く行き来できること	39% 81% 42% 13% 5% 2%	54% 83% 29% 12% 4% 1%	43% 80% 37% 13% 5% 2%	40% 81% 41% 13% 5% 2%
(3)主要な幹線道路と直接つながっていること	50% 86% 36% 8% 5% 2%	67% 90% 23% 6% 3% 1%	54% 85% 31% 6% 6% 2%	51% 86% 35% 8% 5% 2%
(4)災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること	56% 86% 30% 8% 5% 2%	71% 91% 20% 5% 4% 1%	53% 83% 30% 9% 6% 2%	57% 86% 29% 8% 5% 2%

8割以上が重視すべきと回答があった項目　強くそう思う　どちらかというとそう思う　どちらかというとそう思わない　全くそう思わない　未回答

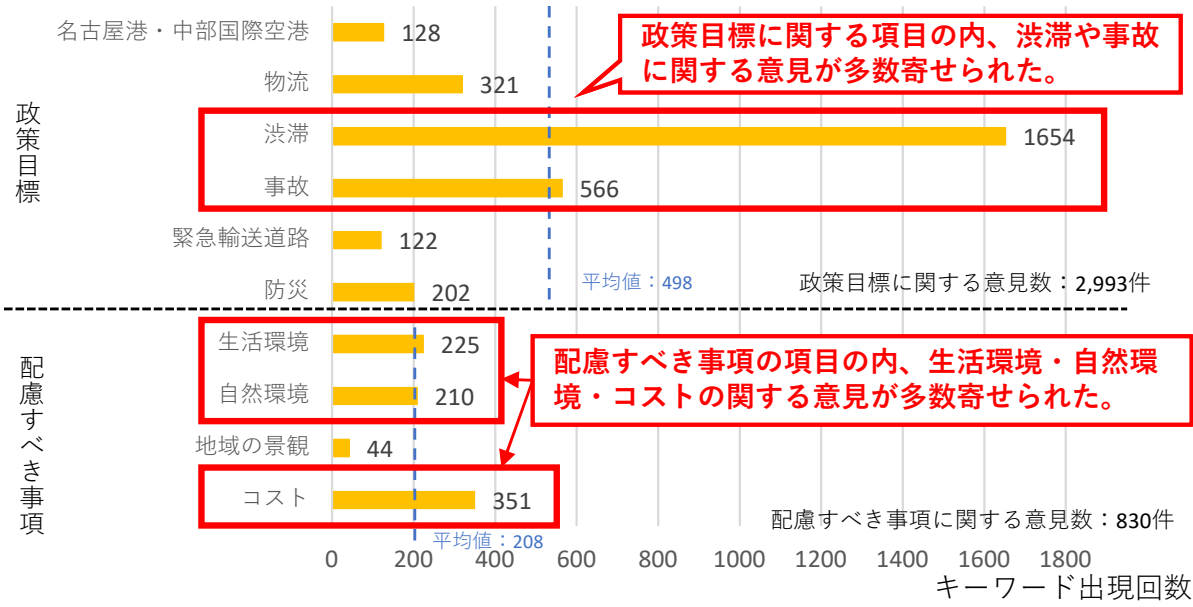
2.第2回意見聴取の結果　2-6)アンケート自由意見①(回答意見の傾向)

- 自由回答に寄せられた意見は5,636件（地域内：4,894件、地域外：331件、事業者：411件）
- 自由回答で得られた意見の内、関連キーワードの出現回数を整理したところ、政策目標の項目においては渋滞や事故に関する意見、配慮すべき事項においては生活環境や自然環境、コストに関する意見が多く確認された。
- ICの配置に関する意見について、名古屋港、中部国際空港、産業集積地に関する意見が多く寄せられた。

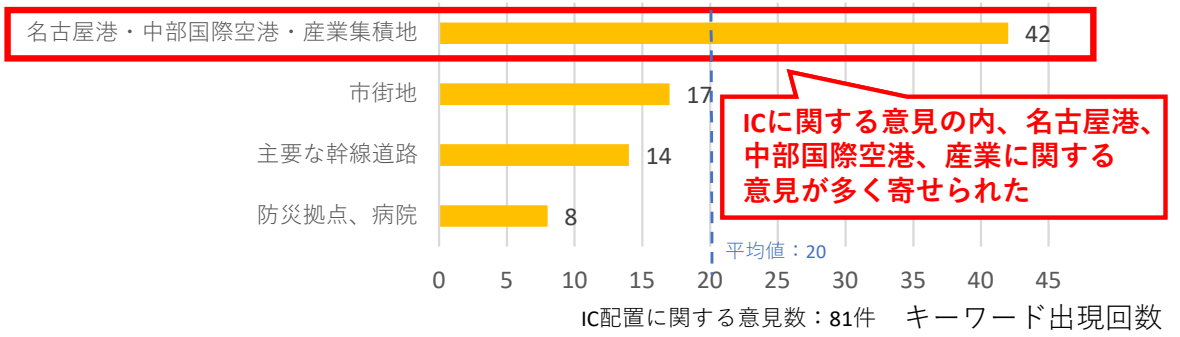
■道路の役割と機能・ICの設問に関連するキーワード

項目		キーワード
政策目標	名古屋港・中部国際空港	名古屋港、中部国際空港、セントレア
	物流	物流、トラック、工場、産業、倉庫、運送
	渋滞	渋滞、混雑、混む、渋滞緩和、混雑緩和
	事故	事故、安全、危険、危ない、安心
	緊急輸送道路	緊急輸送、代替路、災害時、緊急輸送道路、救急車、消防車、緊急車両、物資
	防災	防災、災害、防災拠点、地震、津波、震災
配慮すべき事項	生活環境	生活、大気、騒音、排気ガス、排ガス、空気、CO2
	自然環境	自然、動物、植物、生態系
	地域の景観	景観、景色
	コスト	コスト、費用、金、税金、予算、投資、負担、財源
ICの配置	名古屋港、中部国際空港、産業集積地	名古屋港、中部国際空港、セントレア、物流、トラック、工場、産業、倉庫、運送
	市街地	市街地、居住地、住宅地
	主要な幹線道路	幹線道路、主要道路、主要路線
	防災拠点、病院	緊急輸送、代替路、災害時、緊急輸送道路、救急車、消防車、緊急車両、物資、防災、災害、防災拠点、地震、津波、震災

■道路の役割と機能の項目における関連キーワードの出現回数



■ICの配置の項目における関連キーワードの出現回数



※キーワード出現回数の設定方法
道路の役割と機能：全意見の中で、設定したキーワードが含まれている意見の数
ICの配置：ICに関する意見の中で、設定したキーワードが含まれている意見の数

2.第2回意見聴取の結果　2-6)アンケート自由意見②(政策目標に関する意見)

● 道路の役割と機能の内、政策目標に関する事項の中では、「（３）周辺道路の渋滞が緩和されること」、「（４）交通事故の危険性を減らせること」に関する意見が多く確認された。

分類		キーワード出現回数	主な意見
産業	(1)名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること	128	• 豊田方面からセントレアに行くとき、**バスで確実に予定時刻に着けると良い**と思います。(碧南市/60代会社員) • **セントレアへのアクセス向上を切に希望！**(碧南市/70歳以上無職) • 知多半島と西三河地域間の道路(橋)が少ない。(阿久比町/50代会社員) • 朝の通勤時間帯の渋滞緩和を強く望む。現状、**名古屋港区へのアクセス改善及び国道23号へのアクセスも改善がみられると快適性が向上する**と思う。(東浦町/30代会社員)
産業	(2)物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること	321	• 知多・西三河は**いろいろな産業（自動車関係）などがあり、もっと整備すべき**である。(大府市/60代会社員) • 道路を作ることにより**物流量の効率化を図ることが大事**だと思う。(半田市/60代主婦・主夫) • **物流がスムーズに行われ、自家用車の渋滞が緩和されるような道路を望みます。**(碧南市/50代会社員) • **一般車両と物流車両との分離化が必要**だと思う。(知立市/30代会社員)
渋滞	(3)周辺道路の渋滞が緩和されること	1654	• **衣浦大橋の渋滞解消**を望みます。(半田市/60代主婦・主夫) • 周辺の道路についても**混雑・渋滞が起こらないように配慮が必要**と思う。(大府市/70歳以上無職) • **平成大橋の渋滞が減る対策**をお願いします。(東浦町/40代パート・アルバイト) • **２３号の渋滞緩和を求む。**(知多市/40代会社員)
安全	(4)交通事故の危険性を減らせること	566	• **自転車が安全、走りやすい道路によりなるように**してほしいです。(安城市/40代無職) • **交通事故が起きない道路構造や見通しがきく配慮して下さい。**(碧南市/60代パート・アルバイト) • 主要道路を通学路として使う子どももいるため、**安全面は特に配慮が必要**と思う。(東浦町/20代学生) • **産業道路の**渋滞、**事故が減ると良いと思う。**(知多市/40代パート・アルバイト)
防災	(5)緊急輸送道路の機能が一層高まること	122	• **災害に際し緊急輸送道路の確保**に向けて中部国際空港へのアクセス道路を複数必要と思う。(大府市/70歳以上無職) • **災害に強い道路を希望します。**名古屋港や境川からの津波対策として高台や高橋で道路を建築してほしい。(東浦町/40代会社員) • 衣浦大橋付近袋小路で**迂回路がないので**、渋滞ひどくて、**災害時は被害甚大になると思います。**(大府市/60代会社員) • **災害時のためにも、**この計画は非常にいいと思うから**実現してほしい。**(東海市/10代学生)
防災	(6)地域の防災性が向上すること	202	• **防災拠点にもなるＳＡ、ＰＡ、道の駅などを充実**させたい。(知多市/50代主婦・主夫) • 緊急輸送道路の高機能化を検討・実現させるにあたっては、水害対策はもちろん、大震災に耐える構造であること。また、**各地域防災拠点への連結が十分とれる道路にされたい。**(東浦町/50代会社員) • **防災の観点から道路作りに配慮**して頂きたい。(東海市/40代主婦・主夫) • 安城市周辺から419号線以外のルートで**知多半島道路に繋がる幹線道路があるとより利便性と防災対策につながる**と感じる。(高浜市/50代会社員)

政策目標に関する事項の中で意見が多い項目

2.第2回意見聴取の結果　2-6)アンケート自由意見③(配慮すべき事項に関する意見)

● 道路の役割と機能の内、配慮すべき事項の中では、「(７) 生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと」、「（８）自然環境（動物・植物・生態系等）に配慮し、影響が少ないこと」、「(10)コストに配慮した道路であること」に関する意見が多く確認された。

	分類	キーワード出現回数	主な意見
配慮すべき事項	(7)生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	225	• 今の家の近くに新たに道路を作ることによって日当たりや**騒音が出るようであれば迷惑なのでやめてほしい。**引っ越し等を検討しなければならなくなるので迷惑(東浦町/20代会社員) • 住民ファーストであってほしい。**大気・騒音はあってはいけません。**（刈谷市/40代会社員） • ２３号の渋滞緩和には大きな効果が期待できるが、**大型車の通行による地域の生活環境にも十分配慮してほしい。**(阿久比町/60代主婦・主夫) • **生活環境を悪化させないようにしてください。**日常生活が便利になることを期待します。(東海市/60代無職)
	(8)自然環境（動物・植物・生態系等）に配慮し、影響が少ないこと	210	• 利便性ばかりではなく**自然環境も大切にして欲しいと思います。**(高浜市/50代パート・アルバイト) • 愛知の自然を、未来の子供たちに残して行けるよう、**環境負荷の少ない道路整備を行ってもらいたい**と思います。(大府市/農業・漁業) • 緑化**など自然への配慮を充分にしてほしい。**夏場の反射熱、輻射熱などの対策もしてほしい。(高浜市/50代会社員) • 長浦ＩＣ近く、Ｂ案の予定地上に住んでおり、私も両親も兄弟もこの地域の**自然や生き物たちにとても愛着があります。ぜひご配慮のほどよろしくお願いいたします。**(知多市/30代パート・アルバイト)
	(9)地域の景観（環境資源）に配慮し、影響が少ないこと	44	• **景観を崩したくない**ので、田畑や自然を切り開くのは極力控えてほしい。(知多市/30代会社員) • 西三河南部地域の長閑な、**穏やかな景観は残すべきだと思います。**ご一考下さい。(知立市/40代公務員) • **景観や自然を壊すことは今後利便性をおとしてでも守るべき。**(阿久比町/宿泊業・飲食サービス業) • 人の行き来が楽になるのは、とても良いことだと思うが、**景観や自然に配慮した道路が一番いいと思います。**(知立市/10代学生)
	(10)コストに配慮した道路であること	351	• 利便性や防災機能が向上するのはよいが、**コストや環境負荷とのバランスが大切だと思います。**(知多市/50代公務員) • **将来のコストを抑え**、効率の良い整備を考えて欲しい。(高浜市/60代無職) • 税金を使うと思うが、**経費節約に努めてほしい。**(知立市/70歳以上無職) • **ランニングコスト**を十分に考え、未来に負荷をかけないように！(高浜市/60代主婦・主夫)

□ 配慮すべき事項の中で意見が多い項目

2.第2回意見聴取の結果　2-6)アンケート自由意見④(ICに関する意見・その他意見)

- ICの配置の際に配慮すべき事項について、名古屋港、中部国際空港、産業集積地に関する意見が多く確認された。
- その他意見として、道路整備の早期実現や料金、国道23号、衣浦大橋に関する意見が寄せられた。

分類		キーワード出現回数	主な意見
インターチェンジの配置に関する意見	(1)名古屋港、中部国際空港、産業集積地へ速く行き来できること	42	• インターチェンジを作ってもらえるとそこで**物流拠点も増え、活性する。**（安城市/行政書士） • 長浦ICではなく、**中部国際空港に直接繋がる道路を作って欲しいです。**（常滑市/30代公務員） • **国道366にもインターチェンジを設置するべき。**国道366を半田方面から南北に移動するトラックが一定数存在する。**このトラックを名古屋港方面に通過させるためにはインターチェンジが必須。**（東浦町/40代会社員）
	(2)市街地へ速く行き来できること	17	• インターチェンジは**市街地へのアクセスも考えてほしい。**（東浦町/60代公務員） • 刈谷は高速道路へのアクセスが悪いので、**刈谷市街地から近い位置にインターを設けられるルートを選定してほしい。**（刈谷市/30代会社員）
	(3)主要な幹線道路と直接つながっていること	14	• **主要道路にはICを必ず設置。**（東浦町/20代学生） • **幹線道路の状況を良く考えてインターは作るべきと思う**（碧南市/無職）
	(4)災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること	8	• 東浦町は、**防災の観点からも重要な道路となると思うので、インターの設置をお願いします。**（東浦町/40代会社員） • 半田病院の新設にともない周辺の道路の拡張が大変重要だと思います。半田中央インターあたり。（半田市/60代パート・アルバイト）
	その他意見	―	• 高速道路**インターにのる際、渋滞が発生しないような立地にしてほしい。**（高浜市/50代会社員） • ICやSAの設置によって**周辺地域の経済の活性化に寄与してほしい。**（安城市/30代会社員）
その他意見	早期整備に関する意見	―	• 道路整備に時間をかけすぎています。予算もあると思いますが、**早期完成を目指して下さい。**（刈谷市/50代会社員） • 地震の発生による被害を軽減するために**早期に対応されたい。**（常滑市/60代自営業）
	料金（有料・無料）に関する意見	―	• 国道２３号線のように**無料であること**、有料の場合渋滞緩和にはならない。（知立市/60代自営業） • **高速道路（有料道路）にして**、必要性の高い車の移動道路にするべき。（安城市/宿泊業・飲食サービス業）
	国道23号に関する意見	―	• **国道２３号線知立バイパスが知立市、刈谷市内で渋滞がひどい**、中部国際空港や東海市、知多市へ抜ける高規格道路が他にないので、整備してほしい。（知立市/50代主婦・主夫） • **国道２３号の混雑緩和と事故防止**に繋がってほしい。（安城市/30代会社員）
	衣浦大橋に関する意見	―	• 平成大橋と衣浦大橋へ中間に**もう一本橋が欲しい。**（東浦町/70歳以上無職） • **衣浦大橋をよく利用するが、**左折専用レーンができたことでずいぶん渋滞が緩和されたとは思うが碧南方面からの左折に信号がなく、**いつか事故がおきるのではと心配している。**（高浜市/50代公務員）

ICの配置に関する内容の中で意見が多い項目

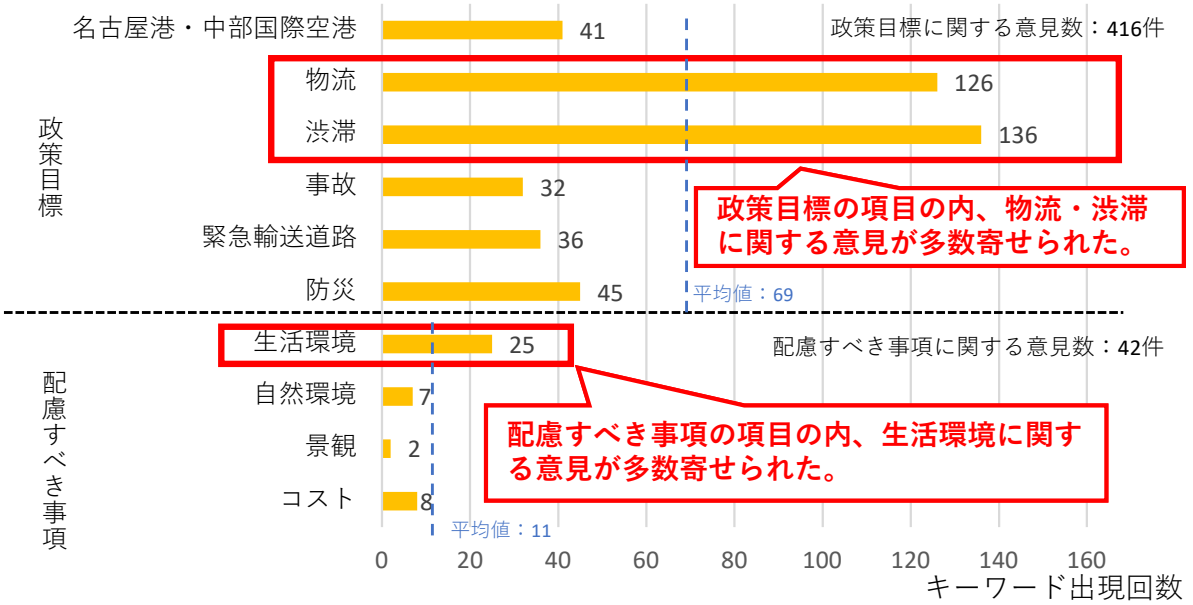
2.第2回意見聴取の結果　2-7）ヒアリング調査結果①（回答意見の傾向）

- 自治体や警察署、病院、事業者等、計94箇所を対象にヒアリング調査を行い、672件の意見を得られた。
- ヒアリング調査で得られた意見の内、各設問に関係する意見の出現回数を整理したところ、政策目標の項目においては物流や渋滞に関する意見、配慮すべき事項においては生活環境に関する意見が多く確認された。
- ICの配置に関する意見について、名古屋港、中部国際空港、産業集積地、幹線道路に関する意見が多く確認された。

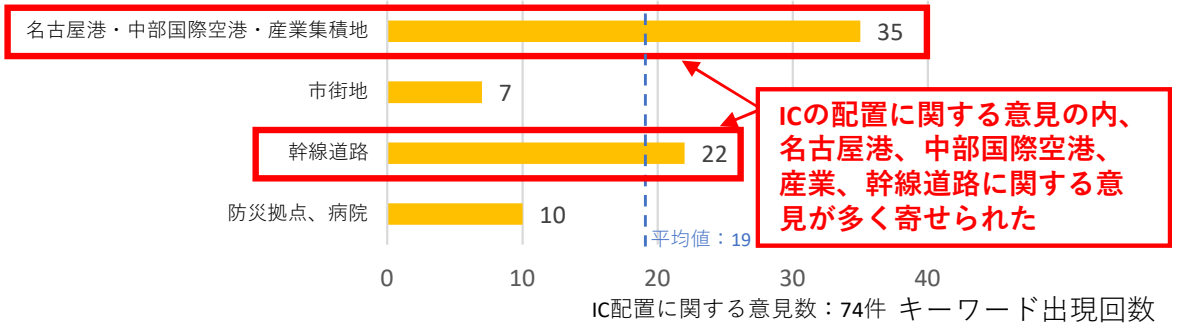
■道路の役割と機能・ICの設問に関連するキーワード

項目		キーワード
政策目標	名古屋港・中部国際空港	名古屋港、中部国際空港、セントレア
	物流	物流、トラック、工場、産業、倉庫、運送
	渋滞	渋滞、混雑、混む、渋滞緩和、混雑緩和
	事故	事故、安全、危険、危ない、安心
	緊急輸送道路	緊急輸送、代替路、災害時、緊急輸送道路、救急車、消防車、緊急車両、物資
	防災	防災、災害、防災拠点、地震、津波、震災
配慮すべき事項	生活環境	生活、大気、騒音、排気ガス、排ガス、空気、CO2
	自然環境	自然、動物、植物、生態系
	地域の景観	景観、景色
	コスト	コスト、費用、金、税金、予算、投資、負担、財源
ICの配置	名古屋港、中部国際空港、産業集積地	名古屋港、中部国際空港、セントレア、物流 、トラック、工場、産業、倉庫、運送
	市街地	市街地、居住地、住宅地
	主要な幹線道路	幹線道路、主要道路、主要路線
	防災拠点、病院	緊急輸送、代替路、災害時、緊急輸送道路、救急車、消防車、緊急車両、物資、防災、災害、防災拠点、地震、津波、震災

■道路の役割と機能の項目における関連キーワードの出現回数



■ICの配置の項目における関連キーワードの出現回数



※キーワード出現回数の設定方法
道路の役割と機能：全意見の中で、設定したキーワードが含まれている意見の数
ICの配置：ICの配置に関する意見の中で、設定したキーワードが含まれている意見の数

2.第2回意見聴取の結果　2-7）ヒアリング調査結果②（政策目標に関する意見）

● 道路の役割と機能の内、政策目標に関する事項の中では、「(2)物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること」、「（３）周辺道路の渋滞が緩和されること」に関する意見が多く確認された。

分類		キーワード出現回数	主な意見
産業	(1)名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること	41	• 市の北側に製造業が多い。**伊勢湾岸道路を利用し、名古屋港に行くルートが現状混雑している。**（大府市/商工会） • **セントレアから岡崎や岐阜・静岡方面へ移動する際、名古屋方面へ迂回し、伊勢湾岸道路を利用する。**名古屋三河道路が整備されることで、アクセス性が良くなることが期待される。愛知県内での宿泊需要も高まることが期待される。（愛知県/旅行業協会） • **中部国際空港や名古屋港周辺からアクセスが最も容易になるルートが理想である。**アクセス性の向上により新たな観光客の獲得が期待される。（知多市/観光協会）
産業	(2)物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること	126	• **2024年問題の観点からも、物流道路の整備は大事と考える。**（知多市/製造業） • 製造業の集積する三河地域と知多地域を結ぶことで、**物流施設のニーズが互いに高まると思われる。**（愛知県/倉庫業） • 工業地域沿線地域を通過することで、市街地周辺の道路から大型車交通を転換させ、**生活交通と産業交通の住み分けが促進されるようなルート整備を期待する。**（岡崎市/商工会）
渋滞	(3)周辺道路の渋滞が緩和されること	136	• 高棚北IC付近から西側へ、名古屋三河道路ができることにより、同IC以北の**23号の渋滞緩和につながり、碧南市から名古屋方面への23号によるアクセスが良好になることを期待したい。**（碧南市/自治体） • 自動車専用道路とすることで、信号交差点がなくなり、人や自転車等の進入がなくなることで緊急車両としての機動力が格段に上がり、**現場到着や病院搬送時間の短縮が見込まれる。**（刈谷市/消防署） • 周辺道路の**混雑が緩和することで定時性が高まる。**（愛知県/バス協会）
安全	(4)交通事故の危険性を減らせること	32	• 幹線道路は走りやすくなければならない。そうでなければ、**生活道路に交通が入り、事故が起こる。**（知多市/警察署） • **国道23号で事故渋滞があった際の代替路として、名古屋三河道路の利用の可能性がある。**無料道路の方が代替路として選ぶ際には良い。（名古屋市/運送業） • 幹線道路や一般道路の混雑緩和、交通渋滞や**交通事故の発生リスク低減が重要と考える。**道幅を広くし、自転車専用通行帯を設け安全を確保してほしい。（碧南市/消防署）
防災	(5)緊急輸送道路の機能が一層高まること	36	• 新半田病院は災害拠点病院であるため、災害時における患者の搬送や支援物資等の輸送を考慮し、**災害に強い、高機能の道路を期待しています。**（半田市/病院） • インバウンドを考える際、**外国人が懸念している災害時の配慮が重要であると考える。**（安城市/観光協会） • 伊勢湾岸道路の**渋滞・災害時の迂回ルートとして名古屋三河道路を利用する可能性がある。**（刈谷市/製造業）
防災	(6)地域の防災性が向上すること	45	• **防災が確保されると客の評価も上がる**ため、高架整備の案の方が良い。（愛知県/倉庫業） • **防災面も計画づくりに重要**と考えます。（阿久比町/商工会） • **大災害の発生等における応援・受援体制を考える中で有効的な進入・進出経路となりえる。**（知多市/消防署）

政策目標に関する事項の中で意見が多い項目

2.第2回意見聴取の結果　2-7)ヒアリング調査結果③(配慮すべき事項に関する意見)

● 道路の役割と機能の内、配慮すべき事項の中では、「(7)生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと」に関する意見が多く確認された。

分類		キーワード出現回数	主な意見
配慮すべき事項	(7)生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	25	• 東浦町でいうとA案は**集落・市街地付近を通過するため、生活環境に大きな影響が出ることが懸念される。**（東浦町/商工会） • 物流は大事であるが、**生活の安定を維持することが重要。**（岡崎市/商工会） • トラック等の輸送時間が短縮されることで、**化石燃料の節約や温室効果ガスの排出量削減といった効果も期待できる。**（名古屋市/商工会）
	(8)自然環境（動物・植物・生態系等）に配慮し、影響が少ないこと	7	• 都市公園に位置づけられている**佐布里緑と花のふれあい公園**および、その周囲の**佐布里水源の森については、**都市計画マスタープランにおいて、**自然環境を保全する地区に定めているため、ルート帯から外していただきたい。**（知多市/自治体・観光協会） • 計画路線（A案、C案）から約2km北側に位置する加木屋緑地には、オオタカが現在も営巣しており、計画路線周辺地域を繁殖期の採食行動域として利用していることから、**猛禽類を含め自然環境調査を行う必要がある。**（東海市/自治体）
	(9)地域の景観（環境資源）に配慮し、影響が少ないこと	2	• 周辺地域の環境保護や渋滞状況を配慮した上で工場地帯や幹線道路へのアクセスを考慮し配置するのが妥当かと考えます。**極力、景観に配慮することは大事である。**（知多市/製造業） • **景観を損ねないようなルート・ICの配置が良い。**（東浦町/観光協会）
	(10)コストに配慮した道路であること	8	• **物価が上がると**商業地域を通る際の**買収費用や補償費が今の想定より上がるのではないか。**（東海市/製造業） • **コストについては、渋滞の緩和に繋がればよい。**皆様が使ってもらえる道路にならないといけないと考える。（東浦町/製造業）

□ 配慮すべき事項の中で意見が多い項目

2.第2回意見聴取の結果　2-7）ヒアリング調査結果④（ICに関する意見・その他意見）

- ICの配置の際に配慮すべき事項について、名古屋港、中部国際空港、産業集積地、主要な幹線道路との接続に関する意見が多く確認された。
- その他の意見として、道路の整備期間や料金等に関する質問・意見が寄せられた。

分類		キーワード出現回数	主な意見
インターチェンジの配置に関する意見	(1)名古屋港、中部国際空港、産業集積地へ速く行き来できること	35	• ICから**主要工場地帯まで5～10分程度で移動可能な位置に配置されると時間信頼性が向上される。**（名古屋市/運送業） • **物流施設や開発余剰地の近くにICが配置されると良い。**（刈谷市/運送業） • インバウンド面で考えると、**セントレアからのアクセスが重要。ICがアクセスしやすい位置にあると良い。**（碧南市/観光協会）
	(2)市街地へ速く行き来できること	7	• ICは主要な道路、**市街地、観光地に接続するなど利便性が大事。**（愛知県/観光業協会） • **市街地に早く行き来できるICの配置をすることで、来客数の増加が期待できる。**（東浦町/小売業）
	(3)主要な幹線道路と直接つながっていること	22	• **幹線道路へ直接乗り降りできるICの配置が理想である。**（知立市/商工会） • インターチェンジから病院までのアクセスが重要なため、**幹線道路につなぐのが使い勝手が良い。**（知多市/病院）
	(4)災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること	10	• 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワーク構築のため、**緊急輸送道路にアクセスしやすいICの配置が重要**と考える。（西尾市/商工会） • **防災拠点付近**である知多市消防本部（産業道路長浦IC)**沿線及び消防署八幡出張所沿線にICが整備されることで、災害時の東西交通路が確保できる**と考えます。（知多市/消防署）
	その他意見	―	• **ICの出るところ、入るところに渋滞が生じない様に配置して頂きたい。**（半田市/製造業） • **インターチェンジが近くにある事で、観光客（特に海外）の増加が見込める。**（東浦町/小売業）
その他意見	整備に関する意見	―	• **早急な道路整備を期待する。**（刈谷市/消防署） • 知多エリアから直接、名豊道路にアクセスすることが出来れば静岡や関東方面へのアクセスがしやすくなり物流の効率化が図られることから**早期実現を期待します。**（知多市/製造業） • 有事における災害支援やその後の復興を円滑に行うためには、**伊勢湾岸自動車道と名古屋三河道路によるダブルネットワークの構築が不可欠**だと考える。（名古屋市/商工会） • 名古屋三河道路は、**伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク化により、高速道路ネットワークの機能向上に資する高規格道路**であるため、現在の道路を機能強化するルートはそぐわない。（岡崎市/商工会）
	料金（有料・無料）に関する意見	―	• **自動車専用道路がタダという考え方はなくしたほうが良いと思う。**お金をかけて建設し、タダで活用するようにすると皆が広く長く損をすると思う。（東海市/製造業） • バスとして、無料で混雑するのであれば、有料でスムーズの方が良いが、**従業員の通勤を考えると、有料道路を毎日使うことはないかと思う。**（愛知県/バス協会）

□ ICの配置に関する内容の中で意見が多い項目

2.第2回意見聴取の結果　2-8意見聴取結果のまとめ

- アンケート結果から、ルート帯案を検討する際に、すべての質問事項で肯定的な意見が過半数となり、重視・配慮すべきであることが確認できた。
- その中でも（１）～（７）については、全回答もしくは分類別回答のいずれかで肯定的な意見が８０％を超えている。

３．対応方針（原案）の検討

３－１）複数案の比較

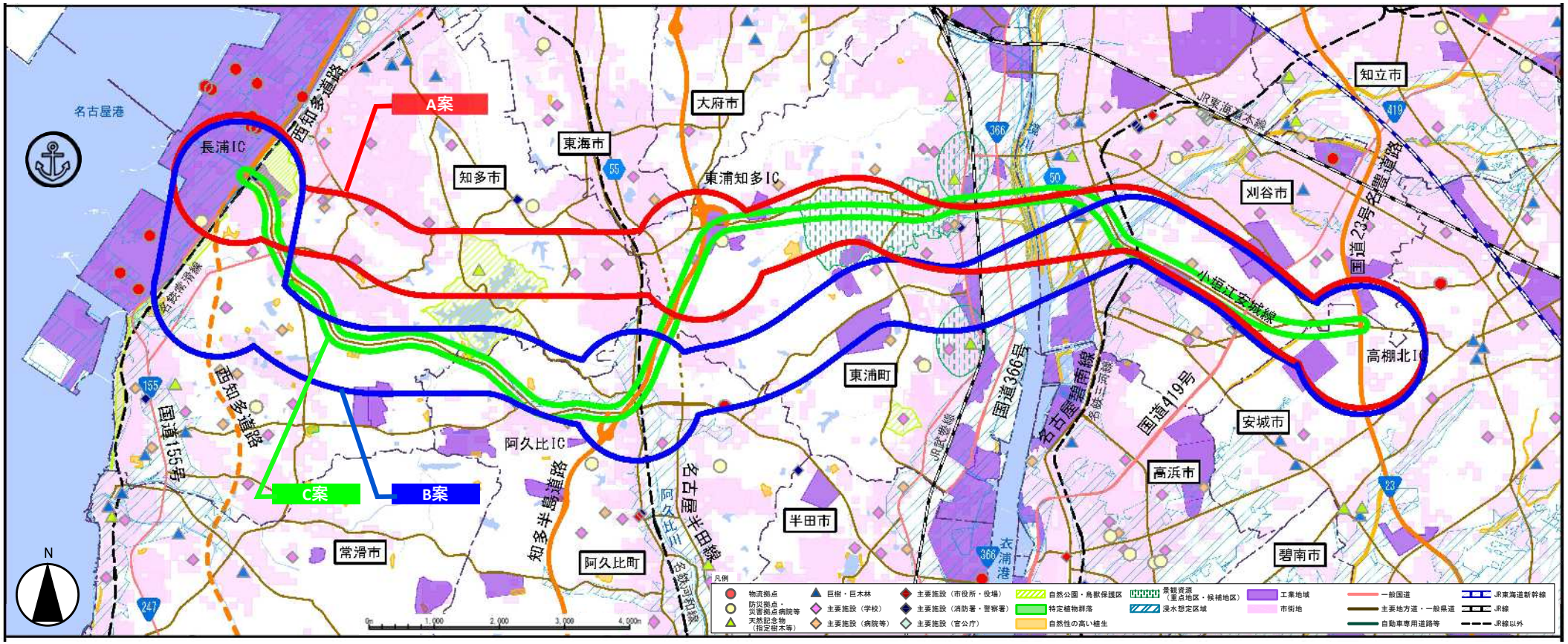
３－２）複数案の比較検討

３－３）ルート帯案・ICの配置の対応方針（原案）

３－４）ルート帯案・インターチェンジの配置検討

3.対応方針(原案)の検討　3-1)複数案の比較

- 【A案】北側ルート：起終点間の速達性を重視した最短距離の自動車専用道ルート（約19km）
- 【B案】南側ルート：起終点間の速達性と沿線の生産拠点へのアクセス性の向上の双方を考慮した自動車専用道ルート（約20km）
  ※西知多道路と接続する箇所については、西知多道路沿いに幅広く考えられることから、ルート帯を長い円で変更するものとする。
- 【C案】現道活用ルート：コストを抑えながら起終点間の既存ルートの交通容量を拡大し、速達性向上を図る現道強化ルート（約23km）



【参考文献】動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況：第4回自然環境保全基礎調査（平成7年、環境庁）／第5回自然環境保全基礎調査　種の多様性調査（平成13年、環境省）／第5回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）（平成12年、環境省）／第6回自然環境保全基礎調査　種の多様性調査（平成16年、環境省）／第6回自然環境保全基礎調査（巨樹・巨木林調査）（平成16年、環境省）／第6回・第7回自然環境保全基礎調査　植生調査(植生自然度調査)（平成11年～、環境省生物多様性センター)／レッドデータブックあいち2020 動物編（令和2年、愛知県）／レッドデータブックあいち植物編（令和2年、愛知県）／植物群落レッドデータブック（平成8年、(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会）／令和4年度 愛知県鳥獣保護区等位置図（令和2年、愛知県）／マップあいち 愛知県自然公園情報マップ（令和5年閲覧、愛知県）／愛知県文化財マップ（埋蔵文化財・記念物）（令和5年閲覧、愛知県）／半田市の文化財（令和4年、半田市）／碧南市内の文化財（令和4年、碧南市）／刈谷市の文化財一覧（市指定）（令和元年、刈谷市）／安城市指定文化財リスト（令和5年、安城市）／常滑市 主な文化財（令和元年、常滑市）／東海市内指定文化財一覧表（令和5年、東海市）／【大府市】国登録、県・市指定文化財一覧表（令和5年、大府市）／知多市の文化財（令和2年、知多市）／知立市内の文化財（令和3年、知立市）／高浜市指定文化財一覧（令和5年、高浜市）／阿久比町　史跡・天然記念物（令和4年、阿久比町）／東浦町　町指定文化財（平成28年、東浦町）

3.対応方針（原案）の検討　3-2）複数案の比較検討

● 意見聴取にてルート帯案を考える際に重視すべき事項に基づき比較すると【 B案：南側ルート 】が最も優位である。

評価軸			A案：北側ルート	B案：南側ルート	C案：現道活用ルート	主なヒアリング意見
ルート概要		概要	起終点間の速達性を重視した最短距離の自動車専用道ルート	起終点間の速達性と沿線の生産拠点へのアクセス性の向上の双方を考慮した自動車専用道ルート	コストを抑えながら起終点間の既存ルートの交通容量を拡大し、速達性向上を図る現道強化ルート	
		延長	約19km	約20km	約23km	
		ルート整備による短縮時間	約25分	約25分	約14分	
政策目標	【産業】定時性・速達性の向上による物流網の信頼性確保と交流域の拡大	名古屋港・中部国際空港を有する知多地域と西三河地域への移動における速達性・定時性の向上	○起終点間を新たな自動車専用道路により最短距離で結ぶことにより、速達性が最も向上し、アクセスコントロールされることで定時性も向上する。	○起終点間を新たな自動車専用道路により結ぶことにより、速達性が向上し、アクセスコントロールされることで定時性も向上する。	○現道の機能強化（車線数の増加や主要交差点の立体化）による交通容量の拡大により、速達性と定時性がある程度向上する。	・伊勢湾岸道路を利用し、名古屋港に行くルートが現状混雑している。
		工業地域等の生産拠点における物流の効率化	○新たな自動車専用道路により東西方向へのアクセス性が向上する生産拠点が多く立地しており、物流の効率化が図られる。 ・現況と比べアクセスが向上する事業所 N=約220件	○新たな自動車専用道路により東西方向へのアクセス性が向上する生産拠点が最も多く立地しており、物流の効率化がより図られる。 ・現況と比べアクセスが向上する事業所 N=約240件	○現道の機能強化により東西方向へのアクセス性が向上する生産拠点が立地しており、物流の効率化がある程度図られる。 ・現況と比べアクセスが向上する事業所 N=約110件	・2024年問題の観点からも、物流道路の整備は大事と考える。
	【渋滞】交通円滑化	周辺道路の交通混雑の緩和	○新たな自動車専用道路への交通の転換により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する高規格道路や一般道路の混雑が緩和される。	○新たな自動車専用道路への交通の転換により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する高規格道路や一般道路の混雑が緩和される。	○現道の機能強化により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する一般道路の混雑が緩和される。	・周辺道路の混雑が緩和することで定時性が高まる。
	【安全】交通事故の減少	交通事故発生リスクの低減	○新たな自動車専用道路への交通の転換により、事故件数の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通量の減少が見込まれ、交通事故発生リスクの低減が図られる。	○新たな自動車専用道路への交通の転換により、事故件数の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通量の減少が見込まれ、交通事故発生リスクの低減が図られる。	○現道の機能強化により、事故の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通の円滑化が見込まれ、交通事故発生リスクの低減がある程度図られる。	・幹線道路や一般道路の混雑緩和、交通渋滞や交通事故の発生リスク低減が重要と考える。
	【防災】災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時における通行の信頼性の確保	○起終点が新たに嵩上げ式の道路として繋がることにより、浸水リスクが回避されるなど、災害時の通行の信頼性が向上するとともに、代替路として機能する。	○起終点が新たに嵩上げ式の道路として繋がることにより、浸水リスクが回避されるなど、災害時の通行の信頼性が向上するとともに、代替路として機能する。	○現道の機能強化により、災害時の通行の信頼性がある程度向上するが、代替路としての機能は低い。	・伊勢湾岸道路の渋滞災害時の迂回ルートとして名古屋三河道路を利用する可能性が考えられる。
		地域の防災性の向上	○新たな自動車専用道路により既存の高規格道路へのアクセス性が高まる防災拠点等が多く立地しており、地域の防災性の向上が図られる。 ・現況と比べアクセスが向上する防災拠点等　N=14箇所	○新たな自動車専用道路により既存の高規格道路へのアクセス性が高まる防災拠点等が最も多く立地しており、地域の防災性の向上がより図られる。 ・現況と比べアクセスが向上する防災拠点等　N=17箇所	○現道の機能強化により既存の高規格道路へのアクセス性が高まる防災拠点等が立地しており、地域の防災性の向上がある程度図られる。 ・現況と比べアクセスが向上する防災拠点等　N=11箇所	・防災が確保されると客の評価も上がるため、高架整備の案の方が良い。
配慮すべき事項	環境への影響	生活環境への影響（集落・市街地等の大気質・騒音）	○集落・市街地部など、生活環境への配慮が必要と想定される区間が存在し、大気質や騒音などの影響がある程度懸念される。	○集落・市街地部など、生活環境への配慮が必要と想定される区間が存在するが他案に比べ短く、大気質や騒音などの影響の懸念は最も小さい。	○比較的土地利用が進展した現道の機能強化となるため、生活環境への配慮が必要となる区間が比較的多く存在し、大気質や騒音などの影響が懸念される。	・物流は大事であるが、生活の安定を維持することが重要。
		自然環境への影響（動物、植物、生態系等）	○自然公園エリア等を通過し、田園地域を通過する区間長は長く、自然環境への影響がある程度懸念される。	○自然公園エリア等を通過する可能性があり、田園地域を通過する区間長は最も長く、自然環境への影響が懸念される。	○比較的土地利用が進展した現道の機能強化・活用するものであり、自然環境への影響の懸念は最も小さい。	・自然環境保全を定めている地区について、ルート帯から外していただきたい。
		景観等への影響（景観等）	○景観の保全上重要な地域を一部通過するため、景観等の影響が懸念される。	○景観の保全上重要な箇所を概ね回避するため、景観等への影響の懸念は最も小さい。	○現道の機能強化・活用するものであるが、景観の保全上重要な地域を一部通過するため、景観等への影響がある程度懸念される。	・景観を損ねないようなルート・ICの配置が良い。
	経済性への配慮（建設コスト）		○自動車専用道路の新設となり、かつ、支障物件が多いため、経済性に最も劣る。 約3,200億円～3,800億円	○自動車専用道路の新設となるため経済性に劣る。 約3,100億円～3,700億円	○現道の改良となるため、経済性に最も優れる。 約2,300億円～2,800億円	・コストについては、渋滞の緩和に繋がればよい。
その他（自由意見）			・早期整備に関する意見 ・料金（有料・無料）に関する意見 ・国道23号、衣浦大橋に関する意見			・整備期間に関する意見 ・料金に関する意見

□ 意見聴取結果を踏まえ、重視・配慮すべき事項　□ 他の案と比較し優位な事項

3.対応方針（原案）の検討　3-3）ルート帯案とIC検討位置の対応方針（原案）

● 意見聴取結果を基に、以下の通りルート帯案・IC検討位置の対応方針（原案）を設定した。

■道路事業の必要性

政策目標を達成できる道路整備を検討

【政策目標】

〇定時性・速達性の向上による物流網の信頼性の確保と交流域の拡大

〇交通の円滑化

〇交通事故の減少

〇災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

意見聴取の結果

【ルート検討において重視する道路の役割と機能】

〇名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること
〇物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること
〇周辺道路の渋滞が緩和されること
〇交通事故の危険性を減らせること
〇緊急輸送道路の機能が一層高まること
〇地域の防災性が向上すること

【ICの配置について配慮すべき事項】

〇名古屋港、中部国際空港、産業集積地へ速く行き来できること
〇市街地へ速く行き来できること
〇主要な幹線道路と直接つながっていること
〇災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること

■対応方針（原案）

1．ルート帯について

名古屋港や中部国際空港への速達性や定時性が向上し、生産拠点や防災拠点等へのアクセス性に最も優れる【B案：南側ルート】とする。

【理由】

〇名古屋港・中部国際空港への速達性・定時性が向上し、物流網の信頼性が確保され、交流域が拡大する。
〇境川・衣浦港周辺を始め、並行する高規格道路や周辺道路の交通混雑が緩和する。
〇事故件数の多い境川・衣浦港周辺の交通事故の発生リスクが低減する。
〇嵩上げ式の道路として繋がることにより、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが構築される。

2．インターチェンジの配置について

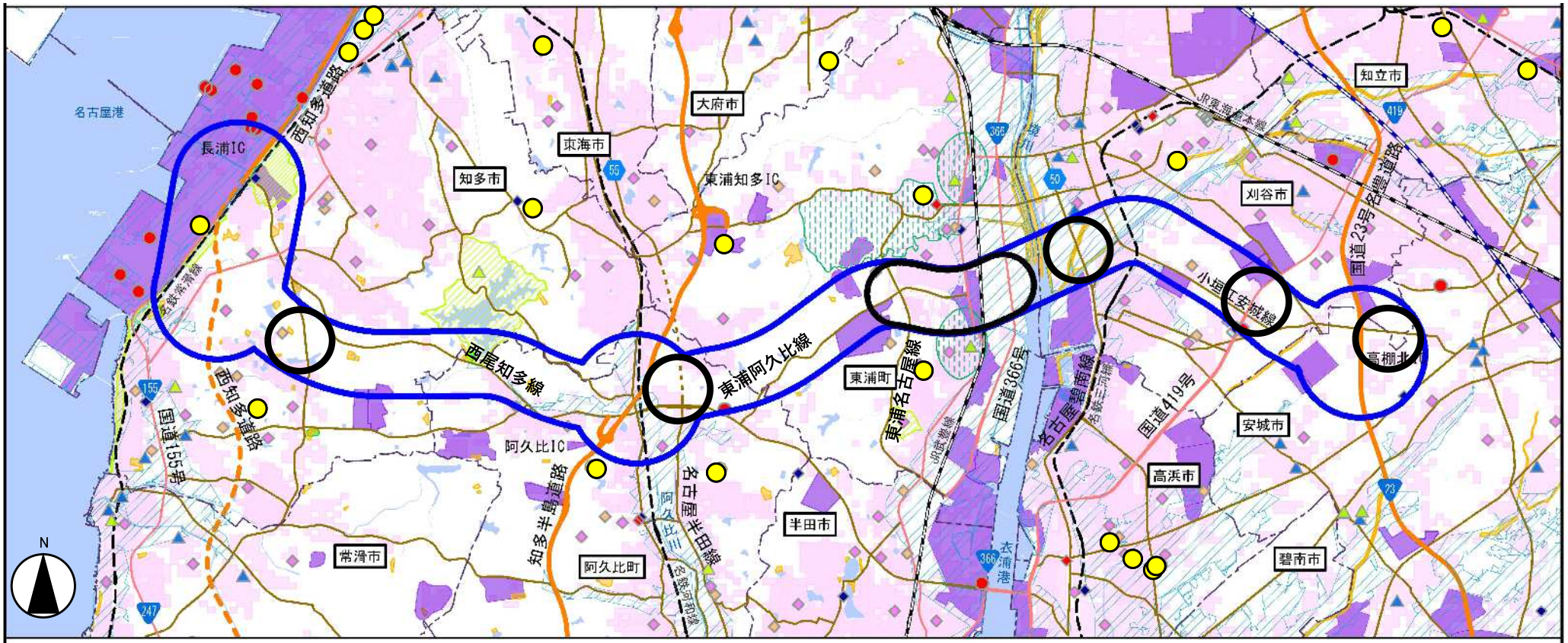
主要な幹線道路と接続するとともに、名古屋港、中部国際空港、産業集積地へのアクセス性への向上や、市街地や防災拠点とのアクセス性にも考慮した検討位置とする。

■その他

- 具体的な道路構造の検討に際し、名古屋三河道路が伊勢湾岸自動車道等の高速道路ネットワークと一体となって効果を発揮する道路であることを踏まえるとともに、生活環境（大気質、騒音等）への影響、家屋の移転、自然環境、景観への影響、工事中の現道交通への影響をできる限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。
- インターチェンジの検討にあたって、アクセス道路との接続箇所付近において、渋滞を引き起こすことの無いよう配慮する。

3.対応方針（原案）の検討　3-4）ルート帯案・インターチェンジ検討位置

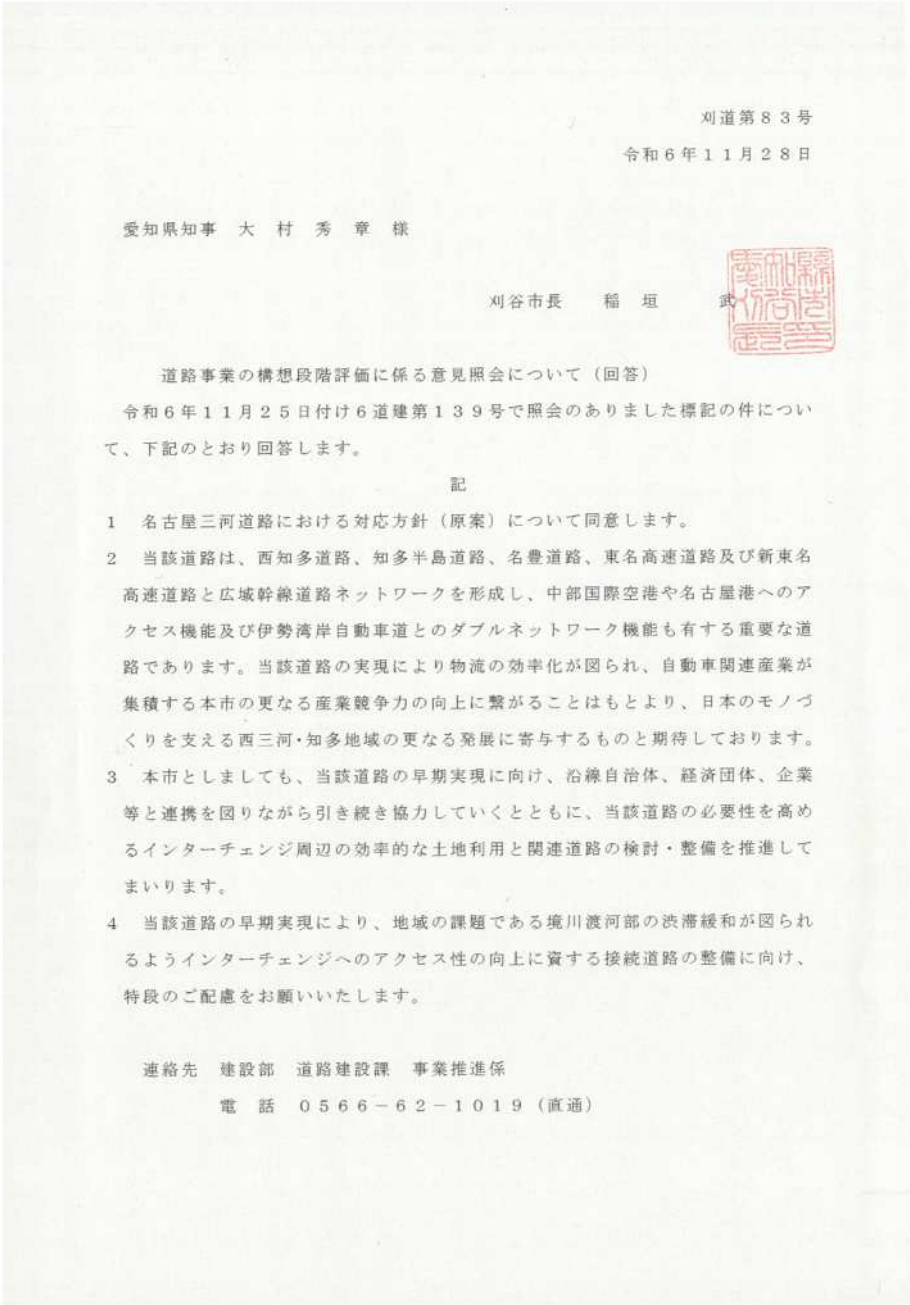
- 名古屋港や中部国際空港への速達性や定時性が向上し、生産拠点や防災拠点等へのアクセス性に最も優れる【B案：南側ルート】とする。
- インターチェンジについては、主要な幹線道路と接続するとともに、名古屋港、中部国際空港、産業集積地へのアクセス性の向上や、市街地や防災拠点へのアクセス性にも考慮した検討位置とする。



４．自治体への意見照会

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
刈谷市	１ 名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。 ２ 当該道路は、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路と広域幹線道路ネットワークを形成し、中部国際空港や名古屋港へのアクセス機能及び伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能も有する重要な道路であります。当該道路の実現により物流の効率化が図られ、自動車関連産業が集積する本市の更なる産業競争力の向上に繋がることはもとより、日本のモノづくりを支える西三河・知多地域の更なる発展に寄与するものと期待しております。 ３ 本市としましても、当該道路の早期実現に向け、沿線自治体、経済団体、企業等と連携を図りながら引き続き協力していくとともに、当該道路の必要性を高めるインターチェンジ周辺の効率的な土地利用と関連道路の検討・整備を推進してまいります。 ４ 当該道路の早期実現により、地域の課題である境川渡河部の渋滞緩和が図られるようインターチェンジへのアクセス性の向上に資する接続道路の整備に向け、特段のご配慮をお願いいたします。



刈道第８３号
令和６年１１月２８日

愛知県知事　大　村　秀　章　様

刈谷市長　　稲　垣　　武

道路事業の構想段階評価に係る意見照会について（回答）

令和６年１１月２５日付け６道建第１３９号で照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

1　名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。

2　当該道路は、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路と広域幹線道路ネットワークを形成し、中部国際空港や名古屋港へのアクセス機能及び伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能も有する重要な道路であります。当該道路の実現により物流の効率化が図られ、自動車関連産業が集積する本市の更なる産業競争力の向上に繋がることはもとより、日本のモノづくりを支える西三河・知多地域の更なる発展に寄与するものと期待しております。

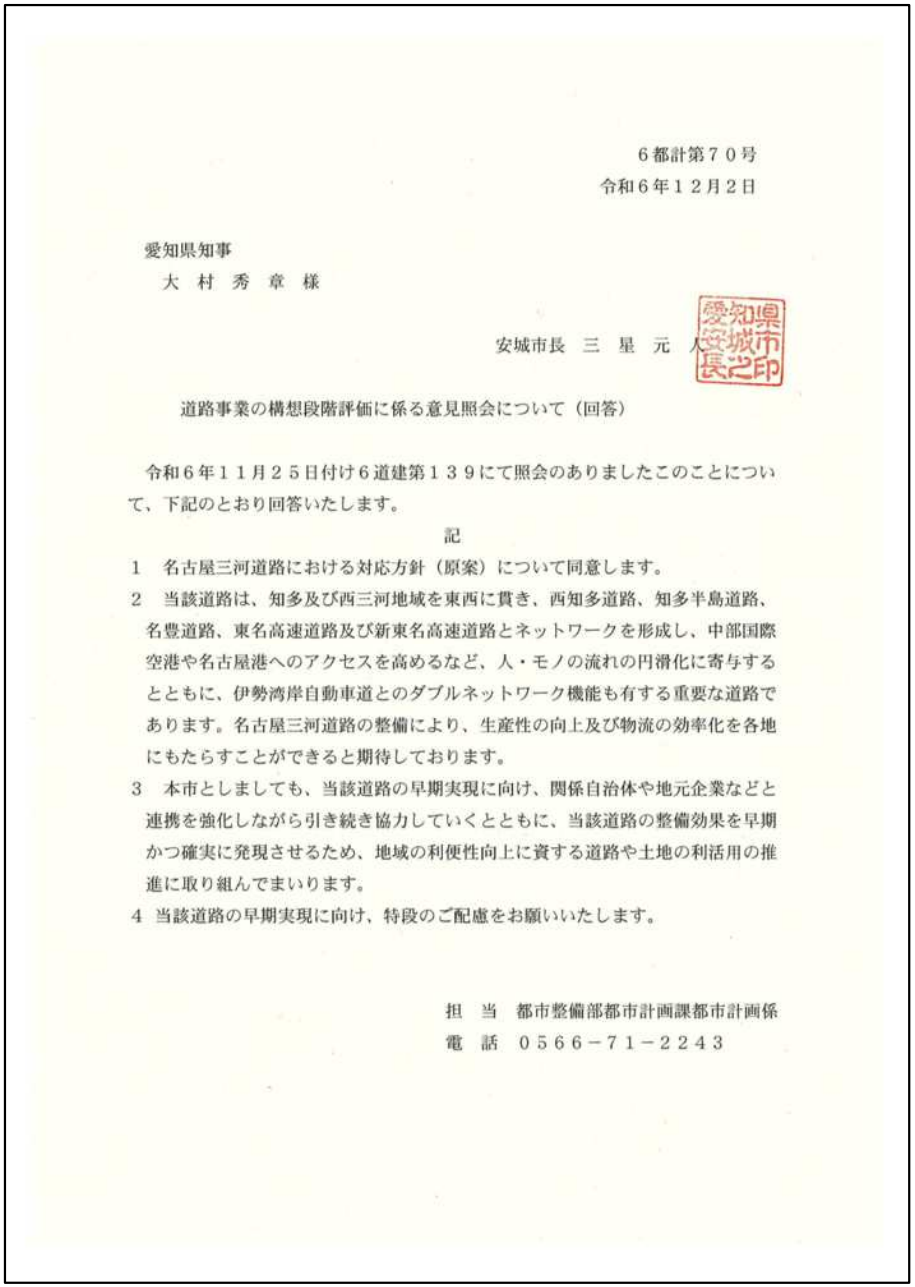
3　本市としましても、当該道路の早期実現に向け、沿線自治体、経済団体、企業等と連携を図りながら引き続き協力していくとともに、当該道路の必要性を高めるインターチェンジ周辺の効率的な土地利用と関連道路の検討・整備を推進してまいります。

4　当該道路の早期実現により、地域の課題である境川渡河部の渋滞緩和が図られるようインターチェンジへのアクセス性の向上に資する接続道路の整備に向け、特段のご配慮をお願いいたします。

連絡先　建設部　道路建設課　事業推進係
電　話　０５６６－６２－１０１９（直通）

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
安城市	１ 名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。 ２ 当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成し、中部国際空港や名古屋港へのアクセスを高めるなど、人・モノの流れの円滑化に寄与するとともに、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能も有する重要な道路であります。名古屋三河道路の整備により、生産性の向上及び物流の効率化を各地にもたらすことができると期待しております。 ３ 本市としましても、当該道路の早期実現に向け、関係自治体や地元企業などと連携を強化しながら引き続き協力していくとともに、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地域の利便性向上に資する道路や土地の利活用の推進に取り組んでまいります。 ４ 当該道路の早期実現に向け、特段のご配慮をお願いいたします。



６都計第７０号
令和６年１２月２日

愛知県知事
大 村 秀 章 様

安城市長 三 星 元 人

道路事業の構想段階評価に係る意見照会について（回答）

令和６年１１月２５日付け６道建第１３９にて照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答いたします。

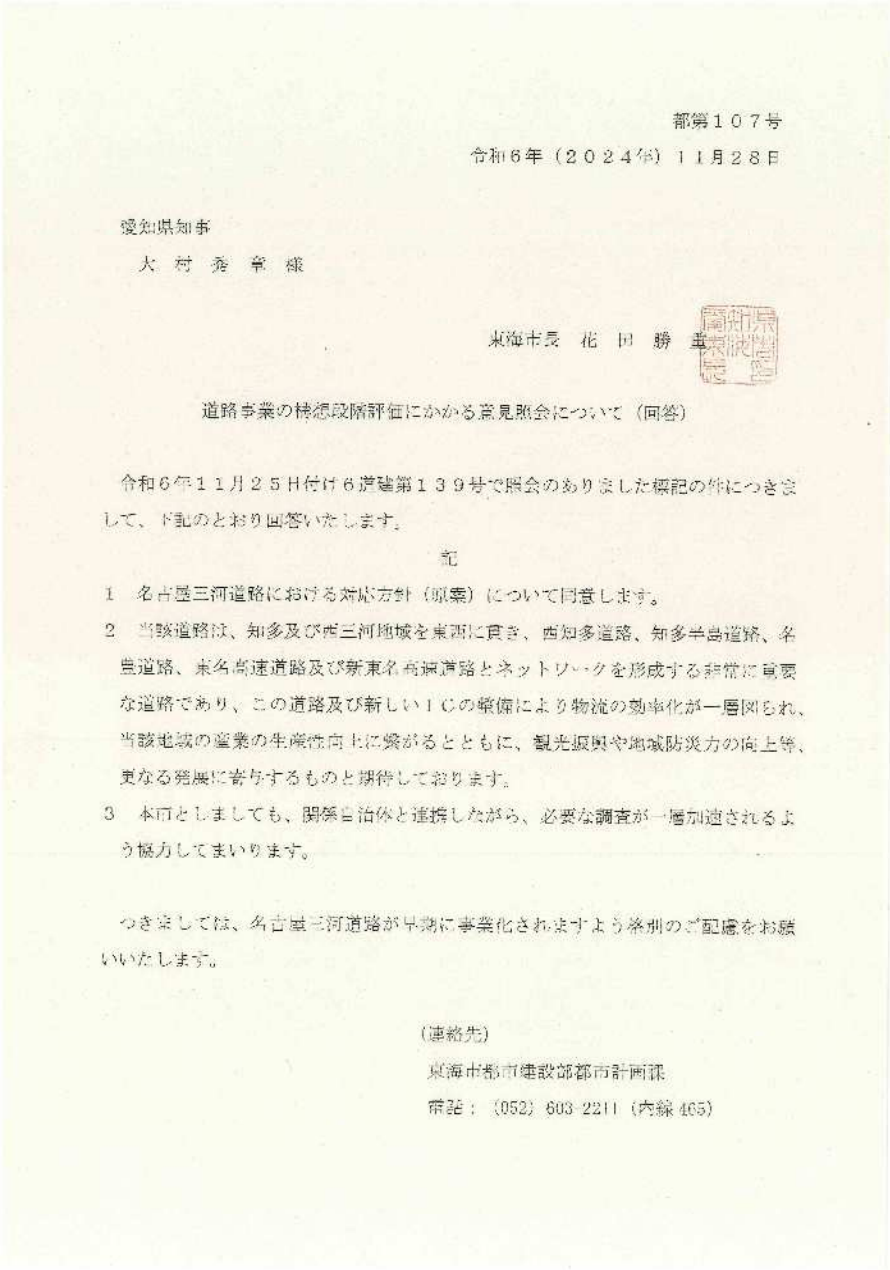
記

１ 名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。
２ 当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成し、中部国際空港や名古屋港へのアクセスを高めるなど、人・モノの流れの円滑化に寄与するとともに、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能も有する重要な道路であります。名古屋三河道路の整備により、生産性の向上及び物流の効率化を各地にもたらすことができると期待しております。
３ 本市としましても、当該道路の早期実現に向け、関係自治体や地元企業などと連携を強化しながら引き続き協力していくとともに、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地域の利便性向上に資する道路や土地の利活用の推進に取り組んでまいります。
４ 当該道路の早期実現に向け、特段のご配慮をお願いいたします。

担 当 都市整備部都市計画課都市計画係
電 話 ０５６６－７１－２２４３

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
東海市	１ 名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。 ２ 当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路及び新しいＩＣの整備により物流の効率化が一層図られ、当該地域の産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。 ３ 本市としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう協力してまいります。 つきましては、名古屋三河道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。



都第１０７号
令和６年（２０２４年）１１月２８日

愛知県知事
大 村 秀 章 様

東海市長 花 田 勝 彦

道路事業の特徴段階評価にかかる意見照会について（回答）

令和６年１１月２５日付け６道建第１３９号で照会のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

１ 名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。

２ 当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路及び新しいＩＣの整備により物流の効率化が一層図られ、当該地域の産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。

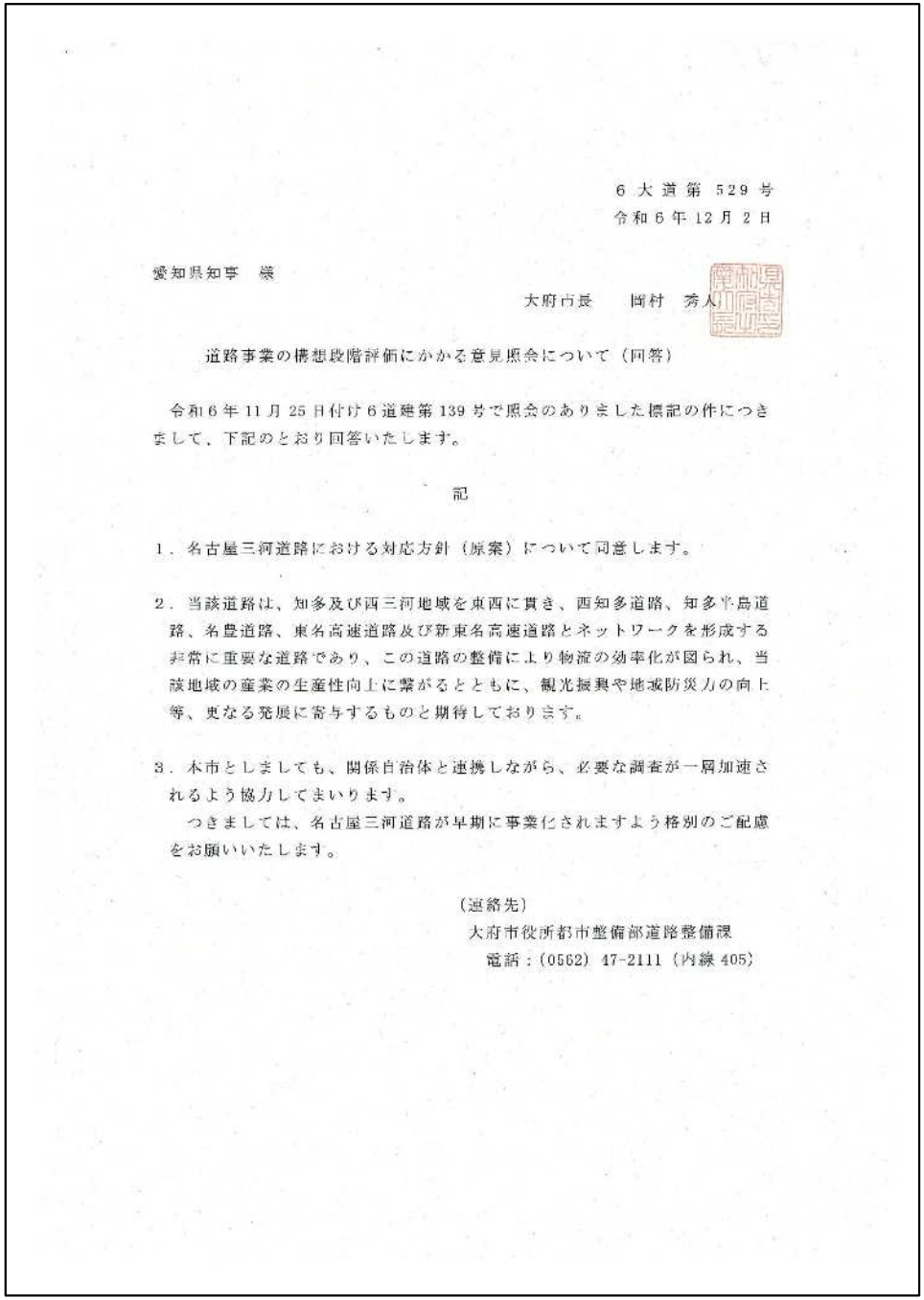
３ 本市としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう協力してまいります。

つきましては、名古屋三河道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

（連絡先）
東海市都市建設部都市計画課
電話：（052）603-2211（内線465）

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
大府市	１．名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。 ２．当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路の整備により物流の効率化が図られ、当該地域の産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。 ３．本市としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう協力してまいります。 つきましては、名古屋三河道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。



6大道第529号
令和6年12月2日

愛知県知事　様

大府市長　岡村　秀人

道路事業の構想段階評価にかかる意見照会について（回答）

令和6年11月25日付け6道建第139号で照会のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

１．名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。

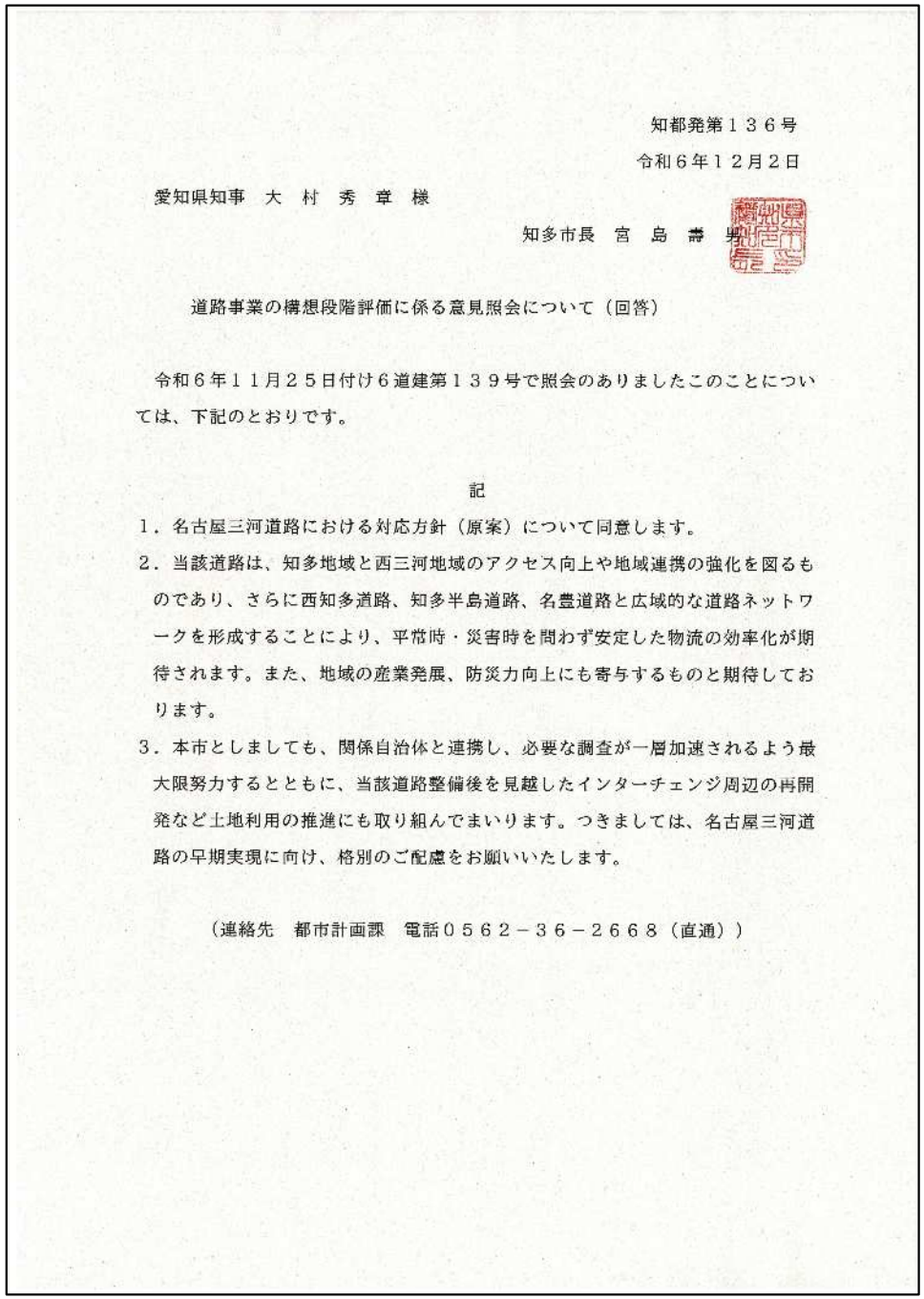
２．当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路の整備により物流の効率化が図られ、当該地域の産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。

３．本市としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう協力してまいります。
つきましては、名古屋三河道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

（連絡先）
大府市役所都市整備部道路整備課
電話：(0562) 47-2111（内線 405）

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
知多市	１．名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。 ２．当該道路は、知多地域と西三河地域のアクセス向上や地域連携の強化を図るものであり、さらに西知多道路、知多半島道路、名豊道路と広域的な道路ネットワークを形成することにより、平常時・災害時を問わず安定した物流の効率化が期待されます。また、地域の産業発展、防災力向上にも寄与するものと期待しております。 ３．本市としましても、関係自治体と連携し、必要な調査が一層加速されるよう最大限努力するとともに、当該道路整備後を見越したインターチェンジ周辺の再開発など土地利用の推進にも取り組んでまいります。つきましては、名古屋三河道路の早期実現に向け、格別のご配慮をお願いいたします。



知都発第１３６号
令和６年１２月２日

愛知県知事　大　村　秀　章　様

知多市長　宮　島　壽　男

道路事業の構想段階評価に係る意見照会について（回答）

令和６年１１月２５日付け６道建第１３９号で照会のありましたこのことについては、下記のとおりです。

記

１．名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。

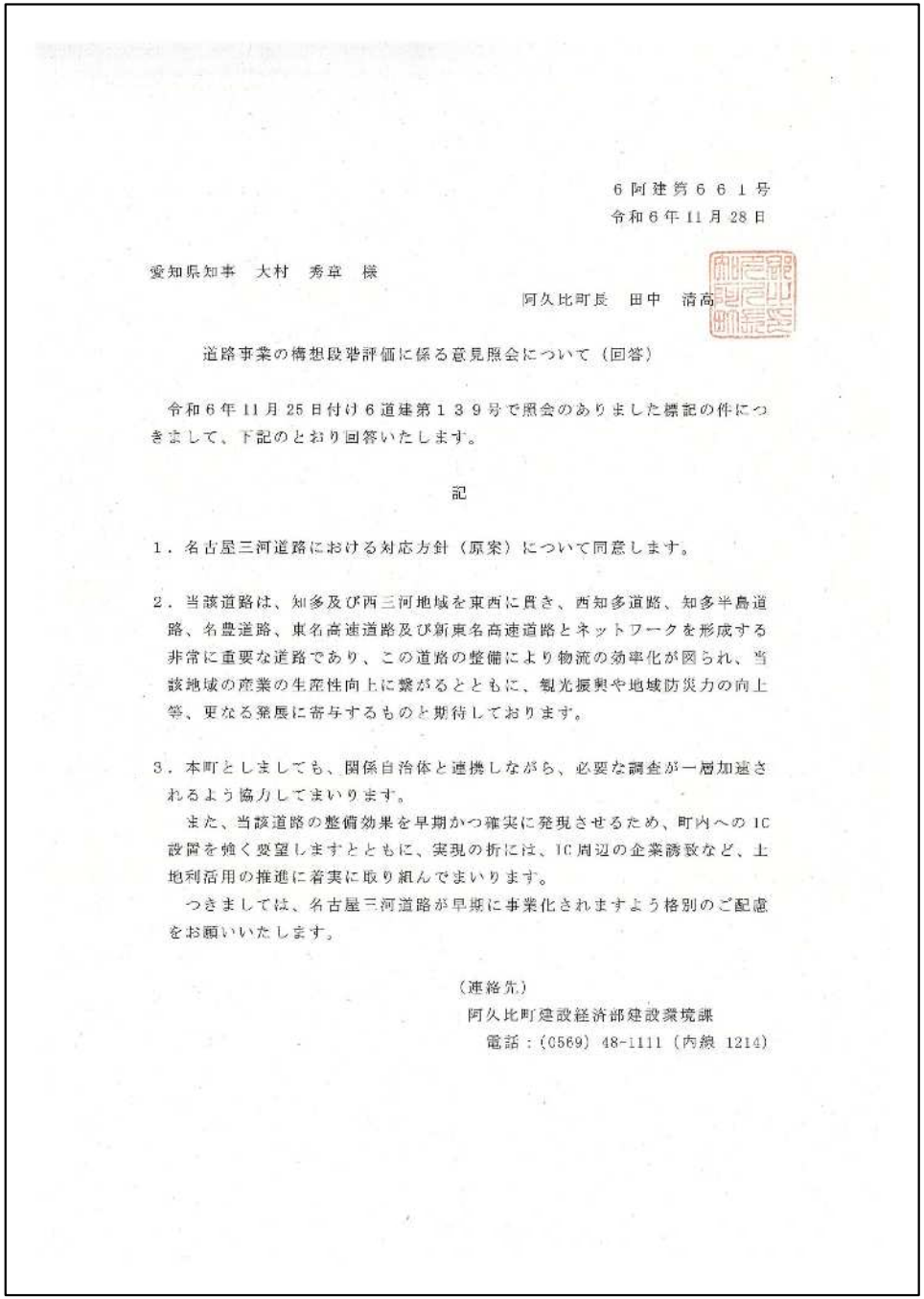
２．当該道路は、知多地域と西三河地域のアクセス向上や地域連携の強化を図るものであり、さらに西知多道路、知多半島道路、名豊道路と広域的な道路ネットワークを形成することにより、平常時・災害時を問わず安定した物流の効率化が期待されます。また、地域の産業発展、防災力向上にも寄与するものと期待しております。

３．本市としましても、関係自治体と連携し、必要な調査が一層加速されるよう最大限努力するとともに、当該道路整備後を見越したインターチェンジ周辺の再開発など土地利用の推進にも取り組んでまいります。つきましては、名古屋三河道路の早期実現に向け、格別のご配慮をお願いいたします。

（連絡先　都市計画課　電話０５６２－３６－２６６８（直通））

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
阿久比町	１．名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。 ２．当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路の整備により物流の効率化が図られ、当該地域の産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。 ３．本町としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう協力してまいります。 また、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、町内へのIC設置を強く要望しますとともに、実現の折には、IC周辺の企業誘致など、土地利活用の推進に着実に取り組んでまいります。 つきましては、名古屋三河道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。



６阿建第６６１号
令和６年11月28日

愛知県知事　大村　秀章　様

阿久比町長　田中　清高

道路事業の構想段階評価に係る意見照会について（回答）

令和６年11月25日付け６道建第１３９号で照会のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

１．名古屋三河道路における対応方針（原案）について同意します。

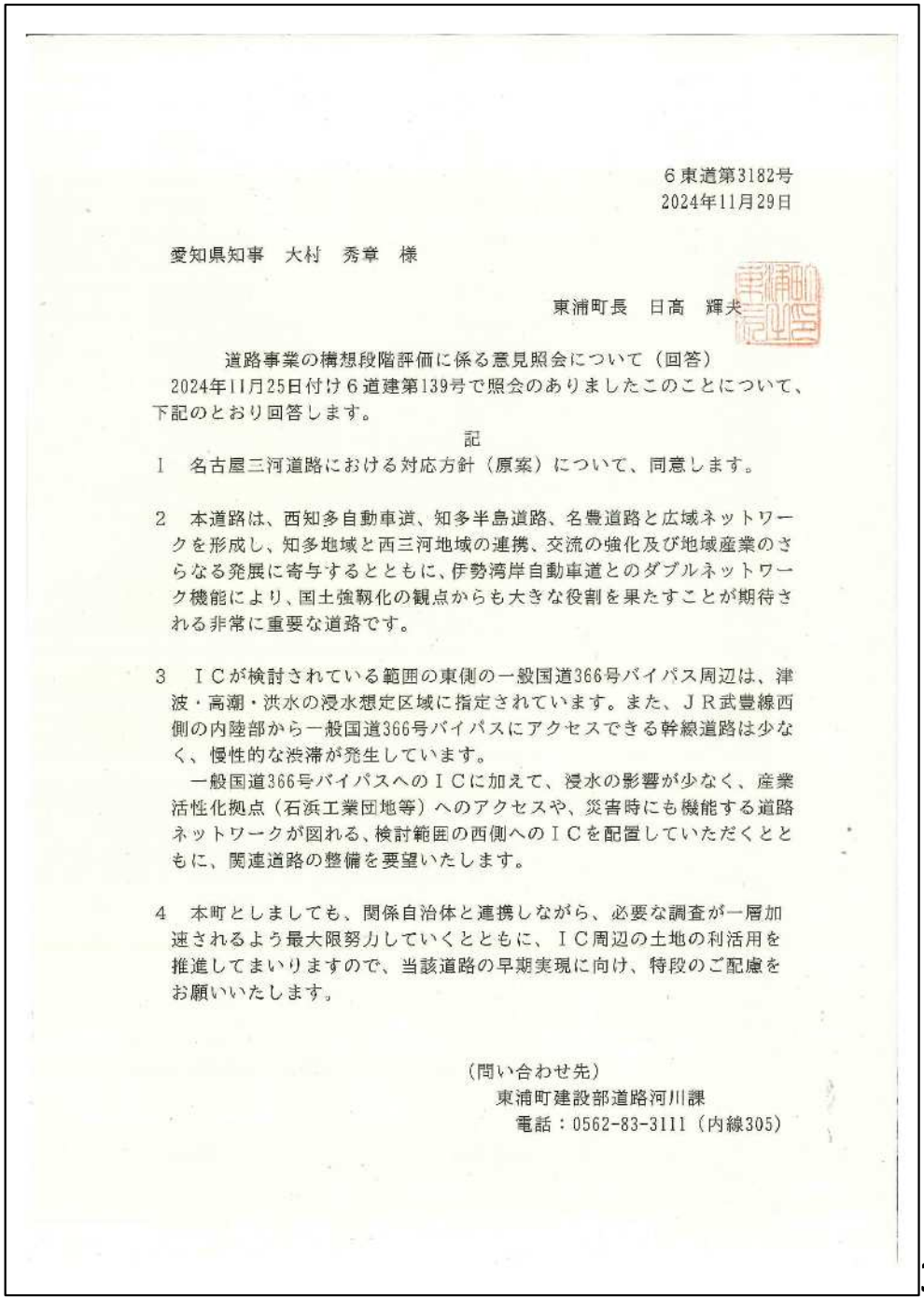
２．当該道路は、知多及び西三河地域を東西に貫き、西知多道路、知多半島道路、名豊道路、東名高速道路及び新東名高速道路とネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路の整備により物流の効率化が図られ、当該地域の産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。

３．本町としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう協力してまいります。
また、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、町内へのIC設置を強く要望しますとともに、実現の折には、IC周辺の企業誘致など、土地利活用の推進に着実に取り組んでまいります。
つきましては、名古屋三河道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

（連絡先）
阿久比町建設経済部建設環境課
電話：(0569) 48-1111（内線 1214）

4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
東浦町	１ 名古屋三河道路における対応方針（原案）について、同意します。 ２ 本道路は、西知多自動車道、知多半島道路、名豊道路と広域ネットワークを形成し、知多地域と西三河地域の連携、交流の強化及び地域産業のさらなる発展に寄与するとともに、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能により、国土強靱化の観点からも大きな役割を果たすことが期待される非常に重要な道路です。 ３ＩＣが検討されている範囲の東側の一般国道366号バイパス周辺は、津波・高潮・洪水の浸水想定区域に指定されています。また、ＪＲ武豊線西側の内陸部から一般国道366号バイパスにアクセスできる幹線道路は少なく、慢性的な渋滞が発生しています。 一般国道366号バイパスへのＩＣに加えて、浸水の影響が少なく、産業活性化拠点（石浜工業団地等）へのアクセスや、災害時にも機能する道路ネットワークが図れる、検討範囲の西側へのＩＣを配置していただくとともに、関連道路の整備を要望いたします。 ４ 本町としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう最大限努力していくとともに、ＩＣ周辺の土地の利活用を推進してまいりますので、当該道路の早期実現に向け、特段のご配慮をお願いいたします。



６東道第3182号
2024年11月29日

愛知県知事　大村　秀章　様

東浦町長　日高　輝夫

道路事業の構想段階評価に係る意見照会について（回答）

2024年11月25日付け６道建第139号で照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

１　名古屋三河道路における対応方針（原案）について、同意します。

２　本道路は、西知多自動車道、知多半島道路、名豊道路と広域ネットワークを形成し、知多地域と西三河地域の連携、交流の強化及び地域産業のさらなる発展に寄与するとともに、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能により、国土強靱化の観点からも大きな役割を果たすことが期待される非常に重要な道路です。

３　ＩＣが検討されている範囲の東側の一般国道366号バイパス周辺は、津波・高潮・洪水の浸水想定区域に指定されています。また、ＪＲ武豊線西側の内陸部から一般国道366号バイパスにアクセスできる幹線道路は少なく、慢性的な渋滞が発生しています。
一般国道366号バイパスへのＩＣに加えて、浸水の影響が少なく、産業活性化拠点（石浜工業団地等）へのアクセスや、災害時にも機能する道路ネットワークが図れる、検討範囲の西側へのＩＣを配置していただくとともに、関連道路の整備を要望いたします。

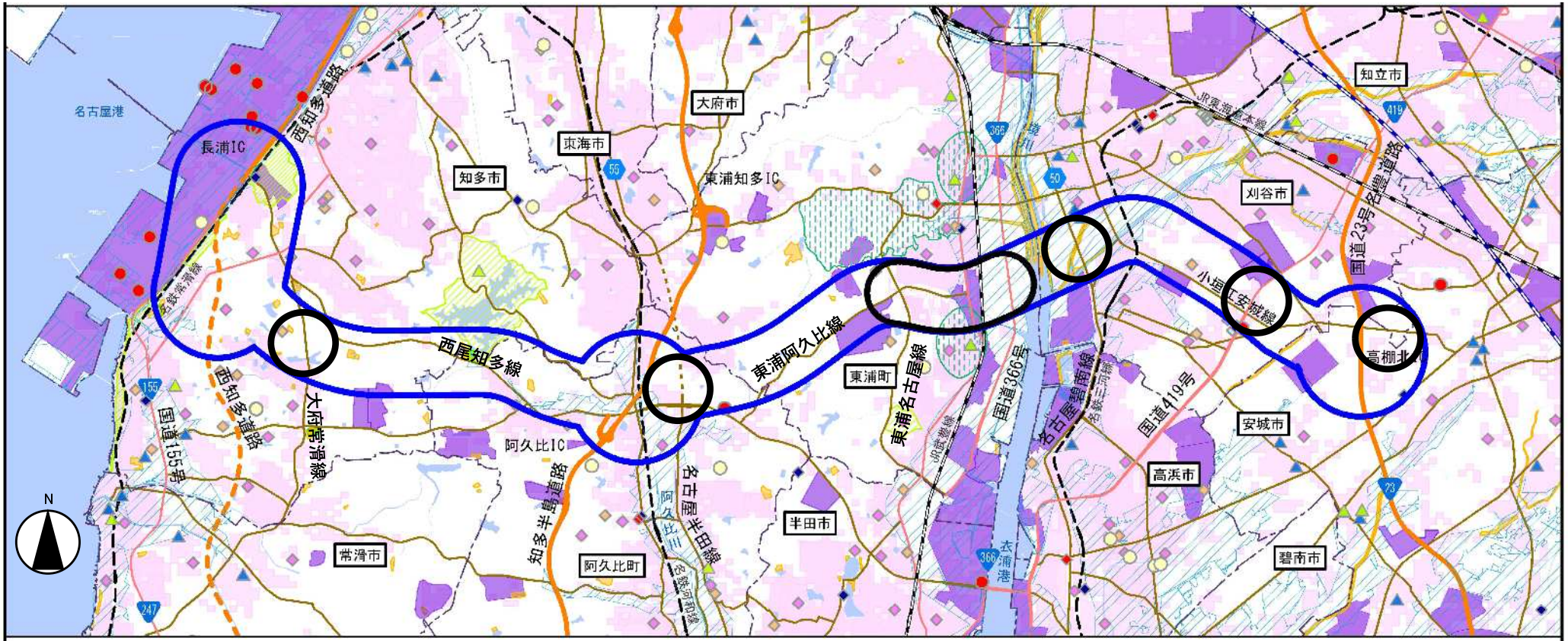
４　本町としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう最大限努力していくとともに、ＩＣ周辺の土地の利活用を推進してまいりますので、当該道路の早期実現に向け、特段のご配慮をお願いいたします。

（問い合わせ先）
東浦町建設部道路河川課
電話：0562-83-3111（内線305）

５．対応方針（案）まとめ

5.対応方針（案）まとめ

- モノづくり産業が発達している本地域において、国際拠点港湾である名古屋港や中部国際空港への速達性や定時性が向上し、生産拠点や防災拠点等へのアクセス性に最も優れるとともに、周辺道路の渋滞緩和や交通事故発生リスクの低減も期待できる【B案：南側ルート】とする。
- インターチェンジについては、主要な幹線道路と接続するとともに、名古屋港、中部国際空港、産業集積地へのアクセス性の向上や、市街地や防災拠点へのアクセス性にも考慮した検討位置とし、浸水等の災害時における機能確保に配慮する。
- 具体的な道路構造の検討に際しては、自然環境等への影響をできるだけ少なくするよう配慮する。



：B案：南側ルート　：IC検討位置

※IC検討位置はフルまたはハーフの構造を示すものではない。